

RY03-Q001 総則 > 目的・用語の定義 難易度:1

道路交通法の目的として最も適切なものはどれか。

- ア. 道路における危険を防止し、交通の安全と円滑を図り、道路交通に起因する障害の防止に資すること。
- イ. 自動車の登録と検査だけを全国統一すること。
- ウ. 旅客運賃を規制して物流価格を安定させること。
- エ. 道路工事の設計基準だけを定めること。

正答：ア

- ア ○ 道路交通法第1条の目的に沿う。危険防止、安全・円滑、交通起因障害の防止が柱である。
- イ × 登録・検査の中心法令は道路運送車両法である。
- ウ × 運賃規制を目的とする法律ではない。
- エ × 道路構造の技術基準だけを扱う法律ではない。

総合解説：目的条文は「危険防止・安全・円滑・障害防止」のまとまりで覚える。

RY03-Q002 総則 > 目的・用語の定義 難易度:2

私有地にあるバスターミナル構内通路でも、不特定多数の車両が自由に通行する状態なら道路交通法上の「道路」に該当し得る。理由として適切なものはどれか。

- ア. 国や地方公共団体が所有する場所だけが道路となる。
- イ. 道路法上の道路等に加え、一般交通の用に供するその他の場所も道路交通法上の「道路」に含まれる。
- ウ. 私有地は利用状況にかかわらず絶対に道路に含まれない。
- エ. 旅客運送事業者の敷地内は道路交通法が一切適用されない。

正答：イ

- ア × 所有主体だけで決まらない。
- イ ○ 正しい。所有関係だけでなく、一般交通に供されている実態が重要である。
- ウ × 私有地でも一般交通の用に供されれば該当し得る。
- エ × 旅客事業者の敷地であることだけで適用外にはならない。

総合解説：営業所やターミナルでも、一般交通への供用実態を踏まえて道路交通法の適用を判断する。

RY03-Q003 総則 > 目的・用語の定義 難易度:1

道路交通法上の「車両」に含まれるものの組合せとして適切なものはどれか。

- ア. 自動車と鉄道車両だけ
- イ. 自動車と航空機だけ
- ウ. 自動車、原動機付自転車、軽車両及びトロリーバス
- エ. 自動車だけ

正答：ウ

- ア × 鉄道車両だけを加える定義ではない。
- イ × 航空機は含まれない。
- ウ ○ 道路交通法の「車両」は自動車以外にも原付、軽車両、トロリーバスを含む。
- エ × 自動車だけでは範囲が狭い。

総合解説：「車」と「自動車」を同義と考えることが重要である。

RY03-Q004 総則 > 目的・用語の定義 難易度:2

道路交通法上の「駐車」に該当するものとして最も適切なものはどれか。

- ア. 赤信号に従って停止する。
- イ. 人の乗り降りのために短時間停止する。
- ウ. 5分以内の旅客の乗降のため、運転者が直ちに運転できる状態で停止する。
- エ. 運転者が車から離れ、直ちに運転できない状態で車を停止させる。

正答：エ

- ア × 信号による停止は駐車ではない。
- イ × 人の乗降のための停止は駐車から除かれる。
- ウ × 5分以内の旅客乗降のための停止は、条件を満たせば駐車に当たらない。
- エ ○ 運転者が離れて直ちに運転できない停止は、時間の長短にかかわらず駐車に当たり得る。

総合解説：駐車が停車かは、停止理由と「直ちに運転できるか」を確認する。

RY03-Q005 総則 > 目的・用語の定義 難易度:3

タクシーが旅客を乗車させるため、運転者が直ちに運転できる状態で短時間停止した。この停止と「駐車」の関係として正しいものはどれか。

- ア. 人の乗降のための停止は、道路交通法上の「駐車」から除かれる。ただし駐停車禁止場所では別途規制を受ける。
- イ. 旅客の乗降なら駐停車禁止場所でも何時間でも停止できる。
- ウ. 人の乗降のための停止は必ず駐車となる。
- エ. タクシーは道路交通法の駐停車規制を受けない。

正答：ア

- ア ○ 正しい。乗降のための停止は駐車から除かれるが、場所の駐停車禁止規制は別に判断する。
- イ × 乗降目的でも駐停車禁止場所の規制は受ける。
- ウ × 乗降目的の停止は駐車から除かれる。
- エ × タクシーにも道路交通法が適用される。

総合解説：「駐車」の定義と「駐停車禁止場所」を分けて判断する。

RY03-Q006 総則 > 目的・用語の定義 難易度:2

道路交通法上の「停車」の説明として正しいものはどれか。

- ア. 車両が24時間以上停止することだけをいう。
- イ. 駐車に当たらない車両の停止をいう。
- ウ. エンジンを切った停止だけをいう。
- エ. 道路外の駐車場に止めることだけをいう。

正答：イ

- ア × 時間だけで定義されない。
- イ ○ 停車は、駐車に当たらない短時間等の停止として整理される。
- ウ × エンジン停止の有無だけでは決まらない。
- エ × 道路外駐車場だけの概念ではない。

総合解説：駐車と停車は、道路交通法上区別して扱われる。

RY03-Q007 総則 > 目的・用語の定義 難易度:1

道路交通法上の「追越し」の説明として最も適切なものはどれか。

- ア. 進路を変えずに隣の車より前に出ることをいう。
- イ. 対向車とすれ違うことをいう。
- ウ. 車両が他の車両等に追いついた場合に、進路を変えてその側方を通過し、前方に出ること。
- エ. 駐車車両の横を徐行して通ることだけをいう。

正答：ウ

- ア × 一般に「追抜き」と呼ばれる状況に近く、追越しとは区別される。
- イ × すれ違いは追越しではない。
- ウ ○ 追越しは、追いついた後に進路変更を伴って側方通過し前方に出る行為である。
- エ × 駐車車両通過だけを定義したものではない。

総合解説：進路変更の有無が「追越し」と「追抜き」を区別する重要な視点である。

RY03-Q008 総則 > 目的・用語の定義 難易度:2

道路交通法上の「交差点」の理解として適切なものはどれか。

- ア. 信号機のある十字路だけをいう。
- イ. 道路と駐車場の出入口が接する場所をすべていう。
- ウ. 高速道路のサービスエリア内だけをいう。
- エ. 十字路、丁字路その他二以上の道路が交わる部分をいう。

正答：エ

- ア × 信号の有無は要件ではない。
- イ × 単なる施設出入口は当然に交差点とはならない。
- ウ × サービスエリア内だけの概念ではない。
- エ ○ 交差点は道路同士が交わる部分であり、信号機の有無に限定されない。

総合解説：交通整理の有無と交差点該当性は別問題である。

RY03-Q009 総則 > 目的・用語の定義 難易度:2

「歩行者」の扱いに関する説明として正しいものはどれか。

- ア. 二輪車等を押して歩いている者が、一定の場合に歩行者として扱われることがある。
- イ. 自転車を押して歩いても必ず車両の運転者として扱われる。
- ウ. 歩行者とは成人だけをいう。
- エ. 道路を歩く者でも横断歩道上では歩行者に当たらない。

正答：ア

- ア ○ 道路交通法では一定の車両を押して歩く者を歩行者として扱う規定がある。
- イ × 押して歩く状態では歩行者扱いとなる場合がある。
- ウ × 年齢で限定されない。
- エ × 横断歩道上でも歩行者である。

総合解説：運行管理では歩行者保護の対象を狭く捉えない。

RY03-Q010 総則 > 目的・用語の定義 難易度:3

運行管理者が道路交通法の用語を確認する際の考え方として適切なものはどれか。

- ア. 一般用語の意味だけで判断し、条文定義は確認しない。
- イ. 同じ「自動車」「道路」等の語でも、道路運送車両法など他法令と定義範囲が異なることがあるため、道路交通法の定義を基準に判断する。
- ウ. 他法令の定義をそのまま道路交通法にも必ず適用する。
- エ. 会社内規で定義を自由に変更できる。

正答：イ

- ア × 法令用語は日常語と異なることがある。
- イ ○ 法令ごとに定義規定が置かれ、適用場面に応じて確認する必要がある。
- ウ × 他法令の定義が当然に共通するとは限らない。
- エ × 会社内規で法令上の定義を変更できない。

総合解説：複数法令を扱う運行管理者試験では、同名用語の法令別定義を意識する。

RY03-Q011 信号・標識・標示 > 信号の意味・道路標識・道路標示 難易度:1

交差点で自動車が青色の灯火に対面した。青信号の法的な意味を踏まえた運転として適切なものはどれか。

- ア. 必ず停止しなければならない。
- イ. 左折だけができる。
- ウ. 直進し、左折し、又は右折することができる。ただし他の交通を妨げてよいわけではない。
- エ. 右折だけができる。

正答：ウ

- ア × 赤信号の扱いである。
- イ × 左折に限定されない。
- ウ ○ 青信号は車両に進行を認めるが、安全確認や歩行者優先等の義務は残る。
- エ × 右折に限定されない。

総合解説：青信号は「無条件に進め」ではない。交差点内の安全義務も同時に判断する。

RY03-Q012 信号・標識・標示 > 信号の意味・道路標識・道路標示 難易度:2

停止線直前で信号が青から黄に変わった。安全に停止できる距離が十分ある場合の対応として正しいものはどれか。

- ア. 青信号と同じく必ず進行できる。
- イ. 速度を上げて交差点を通過しなければならない。
- ウ. 大型自動車だけは常に進行できる。
- エ. 停止位置に近接して安全に停止できない場合を除き、停止位置から先へ進行してはならない。

正答：エ

- ア × 青と同じ意味ではない。
- イ × 加速を求める信号ではない。
- ウ × 車種によるそのような一般例外はない。
- エ ○ 黄色は原則停止。ただし停止位置に近く安全に停止できない場合は進行できる。

総合解説：黄信号での「止まれないから進む」は、安全に停止できない場合に限る。

RY03-Q013 信号・標識・標示 > 信号の意味・道路標識・道路標示 難易度:1

赤色の灯火の信号に対面した車両の原則として正しいものはどれか。

- ア. 停止位置を越えて進行してはならない。
- イ. 交差点に車がいなければ自由に直進できる。
- ウ. 自動車は左折だけなら常に進行できる。
- エ. 警音器を鳴らせば進行できる。

正答：ア

- ア ○ 赤信号では停止位置を越えて進行してはならないのが原則である。
- イ × 交通量の有無で解除されない。
- ウ × 左折可の標示板等の特別な扱いを除き自由左折ではない。
- エ × 警音器で信号規制を免れない。

総合解説：赤信号と左折可標示板、青矢印などの例外を区別する。

RY03-Q014 信号・標識・標示 > 信号の意味・道路標識・道路標示 難易度:2

赤信号と同時に青色の右向き矢印が表示されている場合、自動車の通行として正しいものはどれか。

- ア. 赤信号なので矢印があっても一切進めない。
- イ. 自動車は矢印の方向へ進行できる。
- ウ. 矢印と反対方向にのみ進める。
- エ. 大型自動車だけは矢印に従えない。

正答：イ

- ア × 矢印表示は進行可能方向を示す。
- イ ○ 青矢印は、赤信号でも矢印方向への車両の進行を認める。
- ウ × 反対方向への進行を認めるものではない。
- エ × 大型バスに一律の除外はない。

総合解説：矢印信号では「色」だけでなく矢印の方向を確認する。

RY03-Q015 信号・標識・標示 > 信号の意味・道路標識・道路標示 難易度:3

夜間、交差点の信号機が黄色点滅になっている。自動車の運転方法として適切なものはどれか。

- ア. 必ず一時停止してから進行する。
- イ. その場で信号が変わるまで待つ。
- ウ. 他の交通に注意して進行することができる。
- エ. 後退して別の道路へ進む。

正答：ウ

- ア × 赤点滅の車両等では一時停止が必要となる。
- イ × 信号変化を待つ義務ではない。
- ウ ○ 黄点滅は、他の交通に注意して進行できる信号である。
- エ × 後退を求めるものではない。

総合解説：黄点滅と赤点滅を混同しない。

RY03-Q016 信号・標識・標示 > 信号の意味・道路標識・道路標示 難易度:2

赤色点滅の信号が設置された交差点へ自動車で進入しようとしている。必要な行動はどれか。

- ア. 徐行だけで停止せず進行する。
- イ. 最高速度まで加速して通過する。
- ウ. 青色点滅と同じ扱いをする。
- エ. 停止位置で一時停止し、安全を確認して進行する。

正答：エ

- ア × 徐行だけでは足りない。
- イ × 加速を求める信号ではない。
- ウ × 青色点滅という一般的信号区分と同じではない。
- エ ○ 赤点滅では車両は一時停止が必要である。

総合解説：赤点滅＝一時停止、黄点滅＝注意進行という対比が頻出である。

RY03-Q017 信号・標識・標示 > 信号の意味・道路標識・道路標示 難易度:1

警察官の手信号と信号機の表示が異なる場合、どちらに従うべきか。

- ア. 警察官等の手信号に従う。
- イ. 信号機だけに従う。
- ウ. 道路標示だけに従う。
- エ. 車体の大きい車が優先して判断する。

正答：ア

- ア ○ 交通整理を行う警察官等の手信号は、信号機と異なる場合でも優先する。
- イ × 信号機より警察官等の信号が優先する。
- ウ × 標示より現場の警察官等の指示が優先する場合がある。
- エ × 車体の大きさで優先関係は決まらない。

総合解説：現場で警察官等が交通整理している場合は、その指示を最優先に確認する。

RY03-Q018 信号・標識・標示 > 信号の意味・道路標識・道路標示 難易度:2

本標識の4種類の組合せとして正しいものはどれか。

- ア. 禁止標識、許可標識、広告標識、案内標識
- イ. 規制標識、指示標識、警戒標識、案内標識
- ウ. 危険標識、工事標識、営業標識、登録標識
- エ. 道路標示、区画線、信号機、補助標識

正答：イ

- ア × 法定の4分類ではない。
- イ ○ 警察庁の教則では本標識を規制・指示・警戒・案内の4種類に分類する。
- ウ × そのような分類ではない。
- エ × 道路標示や信号機は本標識の分類ではない。

総合解説：補助標識は本標識の意味を補足する。

RY03-Q019 信号・標識・標示 > 信号の意味・道路標識・道路標示 難易度:2

「最高速度」の道路標識は、標識分類上どれに当たるか。

- ア. 案内標識
- イ. 警戒標識
- ウ. 規制標識
- エ. 指示標識

正答：ウ

- ア × 目的地や距離の案内ではない。
- イ × 危険を予告するだけの標識ではない。
- ウ ○ 最高速度は特定の交通方法を規制する規制標識である。
- エ × 特定の場所等を指示する指示標識とは区別される。

総合解説：速度、通行禁止、駐停車禁止などは規制標識として整理する。

RY03-Q020 信号・標識・標示 > 信号の意味・道路標識・道路標示 難易度:3

補助標識の役割として正しいものはどれか。

- ア. 本標識を無効にするためだけに用いる。
- イ. 車両の登録番号を表示するために用いる。
- ウ. 旅客自動車運送事業者だけが自由に設置できる。
- エ. 本標識の規制理由、適用時間、曜日、対象車種などを補足する。

正答：エ

- ア × 本標識を無効化するものではない。
- イ × 登録番号表示の標識ではない。
- ウ × 道路標識を事業者が自由に設置する制度ではない。
- エ ○ 正しい。補助標識は本標識の意味・対象・時間等を補足する。

総合解説：バス・タクシーでは「路線バス等」「大型等」など対象車種を示す補助標識にも注意する。

RY03-Q021 信号・標識・標示 > 信号の意味・道路標識・道路標示 難易度:1

道路標示の分類として正しいものはどれか。

- ア. 規制標示と指示標示
- イ. 規制標示と案内標示と警戒標示の3種類
- ウ. 標識標示と信号標示の2種類
- エ. 登録標示と検査標示の2種類

正答：ア

- ア ○ 道路標示は規制標示と指示標示の2種類に分類される。
- イ × 標識の分類と混同している。
- ウ × そのような法定分類ではない。
- エ × 車両登録・検査の区分ではない。

総合解説：路面の線・記号・文字も交通規制を示すため、標識だけでなく標示も確認する。

RY03-Q022 信号・標識・標示 > 信号の意味・道路標識・道路標示 難易度:2

進路変更禁止を示す道路標示がある区間での運転として適切なものはどれか。

- ア. 方向指示器を出せば常に進路変更できる。
- イ. 原則として、その標示が禁止する方向への進路変更をしない。
- ウ. 後続車がいなければ標示は無視できる。
- エ. 自動車は規制対象外である。

正答：イ

- ア × 合図を出しても禁止規制には従う。
- イ ○ 進路変更禁止標示は、指定された進路変更を規制する。合図は規制解除の手段ではない。
- ウ × 交通量の有無で規制が消えるわけではない。
- エ × 自動車が一律に除外されない。

総合解説：標示の意味と、進路変更時の合図義務を別々に確認する。

RY03-Q023 車両の交通方法 > 通行区分・車両通行帯 難易度:1

車両通行帯のない道路で、自動車が通行する位置の原則として正しいものはどれか。

- ア. 道路中央から右の部分で常時通行する。
- イ. 歩道を通行する。
- ウ. 道路の中央から左の部分で通行する。
- エ. 道路の中央線上で常時通行する。

正答：ウ

- ア × 右側常時通行は原則に反する。
- イ × 自動車が歩道を通常通行することはできない。
- ウ ○ 日本では車両は原則として道路の左側部分を通行する。
- エ × 中央線上で常時通行するものではない。

総合解説：左側通行は通行区分の基本である。

RY03-Q024 車両の交通方法 > 通行区分・車両通行帯 難易度:2

片側に2本の車両通行帯がある道路での一般的な通行方法として適切なものはどれか。

- ア. 常に右側通行帯を走り続ける。
- イ. 2本の通行帯をまたいで走る。
- ウ. 自動車は常に中央線寄りを走る。
- エ. 原則として左側の車両通行帯を通行し、右側は追越しなど必要な場合に用いる。

正答：エ

- ア × 右側通行帯の漫然走行は原則に反する。
- イ × 通行帯をまたぐ走行は適切でない。
- ウ × 自動車だから中央寄りが原則になるわけではない。
- エ ○ 車両通行帯では原則として最も左側を通行し、追越し等の必要がある場合に右側を用いる。

総合解説：キープレフトは一般道だけでなく高速道路でも基本となる。

RY03-Q025 車両の交通方法 > 通行区分・車両通行帯 難易度:3

片側3以上の車両通行帯がある道路で、最高速度の異なる車が通行する場合の考え方として適切なものはどれか。

- ア. 最も右側の通行帯は原則として追越し等のために空け、速度に応じてそれ以外の通行帯を通行する。
- イ. すべての車が最も右側を通行する。
- ウ. 大型バスは必ず最も右側を通行する。
- エ. 速度に関係なく通行帯を自由に選べる。

正答：ア

- ア ○ 多車線道路では最右通行帯を追越し等に用い、それ以外を速度等に応じて通行する考え方が基本である。
- イ × 最右を常用する規定ではない。
- ウ × 大型バスにそのような一般原則はない。
- エ × 車両通行帯の通行区分に従う必要がある。

総合解説：追越し後は安全を確認して左側の通行帯へ戻ることが基本である。

RY03-Q026 車両の交通方法 > 通行区分・車両通行帯 難易度:2

道路標識等により「車両通行区分」が指定されている場合の対応として正しいものはどれか。

- ア. 会社の運行指示があれば標識等を無視できる。
- イ. 指定された車種・方向等の通行区分に従う。
- ウ. 空いている通行帯なら指定を無視できる。
- エ. 大型車はすべての通行区分指定から除外される。

正答：イ

- ア × 会社指示は法令上の交通規制に優先しない。
- イ ○ 道路標識等による通行区分指定がある場合は、その指定に従う。
- ウ × 交通量の少なさで規制は消えない。
- エ × 大型車の一律除外はない。

総合解説：運行指示と現場交通規制が競合する場合は、当然に交通規制を守る。

RY03-Q027 車両の交通方法 > 通行区分・車両通行帯 難易度:1

タクシーが路線バス等優先通行帯を走行中、後方から路線バス等が接近してきた。一般的な対応として適切なものはどれか。

- ア. そのまま走り続け、路線バスに減速を求める。
- イ. 優先通行帯内で故意に速度を落とす。
- ウ. 速やかに優先通行帯から出るなど、路線バス等の通行を妨げないようにする。
- エ. タクシーも旅客運送車なので常に路線バスと同じ優先権がある。

正答：ウ

- ア × 優先通行の趣旨に反する。
- イ × 故意に妨害してはならない。
- ウ ○ 正しい。路線バス等優先通行帯では、対象となる路線バス等の円滑な通行を妨げないよう対応する。
- エ × 旅客事業用であるだけで路線バスと同じ優先対象になるわけではない。

総合解説：「専用通行帯」と「優先通行帯」を区別し、旅客車でも車種・運行形態に応じて標識に従う。

RY03-Q028 車両の交通方法 > 通行区分・車両通行帯 難易度:2

車両通行帯を変更する際の基本として正しいものはどれか。

- ア. ミラー確認をせず合図だけで変更する。
- イ. 合図を出した瞬間に他車が必ず譲るので確認不要である。
- ウ. 大型車は合図なしで変更できる。
- エ. 後方・側方の安全を確認し、必要な合図を行ってから進路を変更する。

正答：エ

- ア × 合図だけでは安全確認を代替できない。
- イ × 合図を出しても他車に急回避を強いる変更はできない。
- ウ × 車種による免除はない。
- エ ○ 進路変更では安全確認と合図が必要であり、合図に優先権を与える効果はない。

総合解説：大型バスは死角が大きいため、法令上の合図に加えて十分な安全確認が必要である。

RY03-Q029 車両の交通方法 > 通行区分・車両通行帯 難易度:2

高速道路の路肩・路側帯の通行について正しいものはどれか。

- ア. 通常の走行のために路肩や路側帯を通行してはならない。
- イ. 渋滞時は自動車だけ自由に路肩を走れる。
- ウ. 追越しのためなら路肩を使える。
- エ. 速度が50km/h以下なら常に路肩通行できる。

正答：ア

- ア ○ 高速道路では路肩・路側帯は通常走行のための通行部分ではない。
- イ × 渋滞は路肩通行の一般的理由にならない。
- ウ × 追越しに路肩を使ってはならない。
- エ × 速度だけで路肩通行が許されない。

総合解説：渋滞時の路肩走行は重大事故や緊急車両妨害につながる。

RY03-Q030 車両の交通方法 > 通行区分・車両通行帯 難易度:3

高速道路の上り坂で、乗客を乗せたバスの速度が大きく低下し、登坂車線が設けられている。対応として適切なものはどれか。

- ア. 必ず追越し車線を走り続ける。
- イ. 交通状況に応じて登坂車線を利用し、他の交通の安全と円滑を図る。
- ウ. 路肩を登坂車線の代わりに利用する。
- エ. 乗客を乗せたバスは登坂車線を利用してはならない。

正答：イ

- ア × 追越し車線の継続走行は適切でない。
- イ ○ 正しい。速度が低下する車両は登坂車線を適切に利用できる。
- ウ × 路肩は通常走行のための車線ではない。
- エ × 旅客バスにも利用禁止の一般規定はない。

総合解説：乗客を乗せた大型車では、速度差を抑えて安全・円滑な交通を確保する。

RY03-Q031 車両の交通方法 > 追越し・追抜き・進路変更 難易度:1

前車を追い越す場合の原則的な通行側として正しいものはどれか。

- ア. 前車の左側だけを通行する。
- イ. 路肩を通行する。
- ウ. 前車の右側を通行する。
- エ. 歩道を通行する。

正答：ウ

- ア × 一般原則と逆である。
- イ × 路肩は追越し用ではない。
- ウ ○ 追越しは原則として前車の右側を通行して行う。
- エ × 自動車は歩道を追越しに使えない。

総合解説：追越しの右側通過と、左側通行の原則を混同しない。

RY03-Q032 車両の交通方法 > 追越し・追抜き・進路変更 難易度:2

追越しを開始する前の判断として最も適切なものはどれか。

- ア. 方向指示器を出せば安全確認は不要である。
- イ. 前車との車間距離だけ確認すればよい。
- ウ. 大型自動車は後方確認を省略できる。
- エ. 前方・後方の交通、対向車との距離、追越し禁止場所でないこと等を確認する。

正答：エ

- ア × 合図は安全確認の代替ではない。
- イ × 複数方向の危険を確認する必要がある。
- ウ × 車種による省略はない。
- エ ○ 追越しには前後・側方の安全と法定禁止場所の確認が必要である。

総合解説：大型車は加速性能や車長を考え、十分な追越し距離を確保する。

RY03-Q033 車両の交通方法 > 追越し・追抜き・進路変更 難易度:1

道路の曲がり角付近での追越しについて正しいものはどれか。

- ア. 原則として追越しをしてはならない。
- イ. 見通しが悪くても警音器を鳴らせば追越しできる。
- ウ. 大型バスだけは追越しできる。
- エ. 夜間なら追越しできる。

正答：ア

- ア ○ 道路の曲がり角付近は追越し禁止場所である。
- イ × 警音器で禁止が解除されない。
- ウ × 車種による一般例外はない。
- エ × 時間帯で一般解除されない。

総合解説：見通しの悪い場所では対向車との衝突危険が高い。

RY03-Q034 車両の交通方法 > 追越し・追抜き・進路変更 難易度:2

踏切とその手前付近での追越し規制として正しいものはどれか。

- ア. 踏切の直前1メートルだけ禁止である。
- イ. 踏切とその手前30メートル以内は、原則として追越し禁止である。
- ウ. 踏切通過後だけ30メートル禁止である。
- エ. 大型バスは規制対象外である。

正答：イ

- ア × 範囲が狭すぎる。
- イ ○ 踏切とその手前30m以内は追越し禁止場所として規定される。
- ウ × 「手前」が重要である。
- エ × 自動車も対象である。

総合解説：踏切では追越しよりも停止・安全確認が優先される。

RY03-Q035 車両の交通方法 > 追越し・追抜き・進路変更 難易度:3

横断歩道の手前で前車を追い越す場合の規制として正しいものはどれか。

- ア. 歩行者が見えなければ自由に追越しできる。
- イ. 横断歩道上だけが禁止で手前は規制されない。
- ウ. 横断歩道とその手前30メートル以内では、原則として追越しをしてはならない。
- エ. 前車が大型車なら左側から追越ししてよい。

正答：ウ

- ア × 歩行者が見えないことは解除理由にならない。
- イ × 手前30mも規制範囲である。
- ウ ○ 横断歩道等とその手前30m以内では追越しが禁止される。
- エ × 左側追越しで規制を回避できない。

総合解説：前車が横断歩行者を隠している可能性を考える。

RY03-Q036 車両の交通方法 > 追越し・追抜き・進路変更 難易度:2

交通整理の行われていない交差点付近での追越しについて、正しいものはどれか。

- ア. すべての交差点で例外なく100メートル手前から禁止される。
- イ. 信号のない交差点では追越し規制は一切ない。
- ウ. 大型バスは交差点内でも追越し自由である。
- エ. 原則として交差点とその手前30メートル以内は追越し禁止だが、優先道路を通行している場合など法定の例外がある。

正答：エ

- ア × 距離が誤りで、例外も無視している。
- イ × 規制がある。
- ウ × 自動車の自由追越しはない。
- エ ○ 交差点と手前30mは原則禁止だが、優先道路通行中など例外がある。

総合解説：「原則」と「優先道路等の例外」をセットで覚える。

RY03-Q037 車両の交通方法 > 追越し・追抜き・進路変更 難易度:1

同一方向に進行中、進路を変えずに他車の側方を通過して前方に出る行為の説明として最も適切なものはどれか。

- ア. 一般に追抜きと呼ばれ、進路変更を伴う「追越し」と区別される。
- イ. 必ず道路交通法上の追越しに当たる。
- ウ. 転回に当たる。
- エ. 駐車に当たる。

正答：ア

- ア ○ 進路変更を伴わず前に入る行為は、一般に追抜きとして追越しと区別される。
- イ × 追越しの定義では進路変更を伴う。
- ウ × 転回ではない。
- エ × 停止行為ではない。

総合解説：問題文で「進路を変えたか」を確認する。

RY03-Q038 車両の交通方法 > 追越し・追抜き・進路変更 難易度:2

進路変更をしようとする場合、方向指示器による合図を開始する時期として適切なものはどれか。

- ア. 進路変更が終わってから3秒後。
- イ. 進路を変えようとする時の約3秒前。
- ウ. 必ず30メートル手前。
- エ. 進路変更と同時。

正答：イ

- ア × 事後合図では意味がない。
- イ ○ 同一方向に進行しながら進路変更する場合は約3秒前に合図する。
- ウ × 30m手前は右左折・転回の合図時期に関する基準である。
- エ × 同時では周囲への予告にならない。

総合解説：「右左折30m前」と「進路変更約3秒前」を区別する。

RY03-Q039 車両の交通方法 > 追越し・追抜き・進路変更 難易度:2

前車が進路変更の合図をしている場合の後続車の対応として正しいものはどれか。

- ア. 合図を出した車より必ず先に加速して通過する。
- イ. 大型自動車なら妨げてよい。
- ウ. 急ブレーキ等を要する場合を除き、その進路変更を妨げない。
- エ. クラクションを鳴らせば進路変更を妨げてよい。

正答：ウ

- ア × 競争するような加速は危険である。
- イ × 車種による免除はない。
- ウ ○ 法は一定の場合に、合図をした車の進路変更を妨げることを禁止する。
- エ × 警音器で妨害が正当化されない。

総合解説：合図を見たら相手の意図を予測し、安全な間隔を確保する。

RY03-Q040 車両の交通方法 > 追越し・追抜き・進路変更 難易度:3

追越し後に元の車両通行帯へ戻るときの運転として最も適切なものはどれか。

- ア. 追い越した車の直前へ急に割り込む。
- イ. 合図を出さずに戻る。
- ウ. 追越し車線をその後ずっと走り続ける。
- エ. 追い越した車との十分な間隔を確認し、合図と安全確認をして戻る。

正答：エ

- ア × 急な割り込みは危険である。
- イ × 進路変更の合図が必要である。
- ウ × 追越し後は原則として左側へ戻る。
- エ ○ 追越し後も安全な車間距離を確保し、進路変更の手順を守る必要がある。

総合解説：長い自動車では自車後部が相手車両を十分に通過したことを確認する。

RY03-Q041 車両の交通方法 > 交差点の通行方法 難易度:1

交差点で左折するときの基本的な方法として正しいものはどれか。

- ア. あらかじめできるだけ道路の左端に寄り、交差点の側端に沿って徐行する。
- イ. あらかじめ道路中央に寄り、交差点中心の外側を高速で曲がる。
- ウ. 右端に寄って大回りする。
- エ. 交差点直前で急に左へ進路変更する。

正答：ア

- ア ○ 左折は左端寄り、交差点側端沿い、徐行が原則である。
- イ × 右折の方法とも異なり危険である。
- ウ × 右端寄りではない。
- エ × 急な進路変更は巻き込み事故を招く。

総合解説：大型バスでは左折巻き込み防止の安全確認が特に重要である。

RY03-Q042 車両の交通方法 > 交差点の通行方法 難易度:2

一般の道路で交差点を右折するときの基本的な方法として正しいものはどれか。

- ア. 道路の左端から交差点中心の外側を回る。
- イ. あらかじめできるだけ道路の中央に寄り、交差点の中心のすぐ内側を徐行する。
- ウ. 右折時は徐行不要である。
- エ. 対向直進車より常に右折車が優先する。

正答：イ

- ア × 原則的な右折方法と異なる。
- イ ○ 右折は中央寄り、交差点中心のすぐ内側、徐行が原則である。
- ウ × 右折時は徐行が必要である。
- エ × 右折車は対向直進・左折車の進行を妨げてはならない。

総合解説：右折位置と優先関係を別々に確認する。

RY03-Q043 車両の交通方法 > 交差点の通行方法 難易度:1

一方通行道路から右折する場合の通行方法として正しいものはどれか。

- ア. 必ず左端に寄る。
- イ. 道路中央に寄る方法しか認められない。
- ウ. あらかじめできるだけ道路の右端に寄り、交差点中心の内側を徐行する。
- エ. 合図なしで右折する。

正答：ウ

- ア × 左端ではない。
- イ × 一方通行では右端寄りが原則となる。
- ウ ○ 一方通行からの右折は、通常の道路と異なり右端に寄る。
- エ × 右折の合図は必要である。

総合解説：一方通行か否かで右折前の寄り方が変わる。

RY03-Q044 車両の交通方法 > 交差点の通行方法 難易度:2

右折しようとする自動車と、対向する直進車が交差点に接近している場合の原則として正しいものはどれか。

- ア. 右折車が先に交差点へ入れば必ず優先する。
- イ. 大型自動車なら右折が優先する。
- ウ. 右折合図を出せば直進車は必ず停止する。
- エ. 右折車は、対向直進車の進行を妨げてはならない。

正答：エ

- ア × 先に入ったことだけで優先しない。
- イ × 車体の大きさを優先しない。
- ウ × 合図に優先権を与える効果はない。
- エ ○ 右折車は、対向する直進車・左折車の進行を妨げてはならない。

総合解説：大型バスの右折は時間を要するため、無理な進入を避ける。

RY03-Q045 車両の交通方法 > 交差点の通行方法 難易度:3

交通整理の行われていない交差点で、交差する道路が明らかに優先道路である場合の対応として正しいものはどれか。

- ア. 徐行し、優先道路を通行する車両等の進行を妨げない。
- イ. 自車が自動車なら優先道路へ先に進入する。
- ウ. 交差道路の車両に関係なく同じ速度で進入する。
- エ. 警音器を鳴らせば優先関係が逆転する。

正答：ア

- ア ○ 非優先側は徐行し、優先道路の交通を妨げてはならない。
- イ × 車種で優先は変わらない。
- ウ × 減速・安全確認が必要である。
- エ × 警音器で優先関係は変わらない。

総合解説：「優先道路」の標識・標示と道路幅を確認する。

RY03-Q046 車両の交通方法 > 交差点の通行方法 難易度:2

交通整理のない、幅員がほぼ同じ道路の交差点で、同時に他車が接近する場合の原則として正しいものはどれか。

- ア. 右方からの車が常に優先する。
- イ. 左方から進行してくる車両の進行を妨げてはならない。
- ウ. 大型バスが常に優先する。
- エ. 先に警音器を鳴らした車が優先する。

正答：イ

- ア × 原則と逆である。
- イ ○ 同程度の道路が交差する場合は左方車優先の原則がある。
- ウ × 車種による優先ではない。
- エ × 警音器の先後で優先しない。

総合解説：優先道路・道路幅・一時停止規制がないかを先に確認する。

RY03-Q047 車両の交通方法 > 交差点の通行方法 難易度:1

「一時停止」の標識がある交差点での運転として正しいものはどれか。

- ア. 徐行だけで通過する。
- イ. 停止線を越えて交差点中央で停止する。
- ウ. 停止線の直前で一時停止し、交差道路の交通を妨げないよう安全確認する。
- エ. 大型バスは停止に時間がかかるので免除される。

正答：ウ

- ア × 徐行では足りない。
- イ × 停止位置を越えてからの停止では不適切である。
- ウ ○ 一時停止標識がある場合は停止線直前等で停止が必要である。
- エ × 車種による免除はない。

総合解説：停止後に左右の安全確認を確実に行う。

RY03-Q048 車両の交通方法 > 交差点の通行方法 難易度:2

信号が青でも、交差点内の渋滞により進入すると交差点内で停止するおそれがある場合の対応として適切なものはどれか。

- ア. 青信号なので必ず進入する。
- イ. 交差点中央で待機する前提で進入する。
- ウ. 警音器を鳴らし続けながら進入する。
- エ. 交差点に進入せず、前方に通過できる空間ができるまで待つ。

正答：エ

- ア × 青信号でも進入が許されない場面がある。
- イ × 交差点閉塞を招く。
- ウ × 警音器は解決手段ではない。
- エ ○ 交差点内で停止し他の交通を妨害するおそれがあるときは進入を控える。

総合解説：大型バスは車長が長いので、出口側の空間を十分確認してから進入する。

RY03-Q049 車両の交通方法 > 交差点の通行方法 難易度:2

環状交差点へ進入しようとするときの基本として正しいものはどれか。

- ア. 徐行し、環状交差点内を通行している車両等の進行を妨げない。
- イ. 進入車が常に優先する。
- ウ. 停止せず最高速度で進入する。
- エ. 右側から環状部へ入る。

正答：ア

- ア ○ 環状交差点では環状内の車両が優先で、進入時は徐行する。
- イ × 進入側が優先ではない。
- ウ × 安全な速度が必要である。
- エ × 指定された右回り通行等に従う。

総合解説：通常交差点と環状交差点の優先関係を区別する。

RY03-Q050 車両の交通方法 > 交差点の通行方法 難易度:3

交差点で進行方向別通行区分が道路標識・標示で指定されている場合の対応として正しいものはどれか。

- ア. 直進車線から自由に右折してよい。
- イ. 原則として、進行しようとする方向に指定された通行帯を通行する。
- ウ. 車体が長い自動車は指定を無視できる。
- エ. 空いている車線を優先して選べる。

正答：イ

- ア × 指定に反する。
- イ ○ 進行方向別通行区分が指定されている場合は、その指定に従う。
- ウ × 大型車の一般免除はない。
- エ × 混雑状況だけで指定を無視できない。

総合解説：十分手前から適切な通行帯へ移り、急な進路変更を避ける。

RY03-Q051 車両の交通方法 > 横断・転回・後退 難易度:1

道路を横断し、転回し、又は後退しようとする場合の基本的な規制として正しいものはどれか。

- ア. 合図さえ出せばいつでもできる。
- イ. 大型バスは業務上必要なら制限を受けない。
- ウ. 歩行者や他の車両等の正常な交通を妨げるおそれがあるときは、これらの行為をしてはならない。
- エ. 夜間なら交通を妨げてよい。

正答：ウ

- ア × 合図は安全義務を免除しない。
- イ × 業務上の必要だけで禁止が解除されない。
- ウ ○ 横断・転回・後退は、他の正常な交通を妨げるおそれがある場合には禁止される。
- エ × 時間帯で安全義務は消えない。

総合解説：自動車は後方死角が大きいため、法令上の禁止に加えて誘導者等の安全措置が重要である。

RY03-Q052 車両の交通方法 > 横断・転回・後退 難易度:2

「転回禁止」の標識又は標示がある場所での運転として正しいものはどれか。

- ア. 後続車がいなければ転回できる。
- イ. 旅客の送迎目的なら自由に転回できる。
- ウ. ハザードランプを点ければ転回できる。
- エ. 車両は転回してはならない。

正答：エ

- ア × 交通量だけで解除されない。
- イ × 送迎目的の一般例外はない。
- ウ × 非常点滅灯は規制解除にならない。
- エ ○ 転回禁止の標識・標示がある場所では転回は禁止される。

総合解説：ルート設定時に転回禁止場所を避けることも運行管理上重要である。

RY03-Q053 車両の交通方法 > 横断・転回・後退 難易度:1

後退を開始する際の運転として最も適切なものはどれか。

- ア. 後方・側方の安全を十分確認し、必要に応じ誘導を受け、他の交通を妨げないようにする。
- イ. バックモニターだけ見て歩行者確認を省略する。
- ウ. 警音器を鳴らせば後方確認は不要である。
- エ. ミラーを見ずにゆっくり後退する。

正答：ア

- ア ○ 後退では死角を含む安全確認が不可欠で、正常な交通を妨げるおそれがある場合は行えない。
- イ × 補助装置だけに依存しない。
- ウ × 警音器で安全確認を代替できない。
- エ × 低速でも死角確認は必要である。

総合解説：大型自動車の後退事故防止では、可能なら誘導者の活用や降車確認も有効である。

RY03-Q054 車両の交通方法 > 横断・転回・後退 難易度:2

高速自動車国道の本線車道で出口を通り過ぎたことに気付いた場合の対応として適切なものはどれか。

- ア. 路肩を後退して出口へ戻る。
- イ. そのまま次の出口まで進み、後退や転回をしない。
- ウ. 中央分離帯の開口部で転回する。
- エ. 追越し車線上で停止し、後退する。

正答：イ

- ア × 路肩後退は非常に危険である。
- イ ○ 高速道路本線では転回・後退等をしてはならず、通過後は次の出口へ進むのが安全である。
- ウ × 中央分離帯横断も禁止される。
- エ × 本線停止・後退は重大事故につながる。

総合解説：経路ミスより安全を優先し、無理な復帰操作をしない。

RY03-Q055 車両の交通方法 > 横断・転回・後退 難易度:3

道路外の施設へ入るため右左折を伴って道路を横断する場合の判断として最も適切なものはどれか。

- ア. 施設利用者なら道路標識等を無視できる。
- イ. 右左折の合図は不要である。
- ウ. 標識等の規制を確認し、歩行者や他車の正常な交通を妨げない方法で行う。
- エ. 対向車に急ブレーキをさせても進入できる。

正答：ウ

- ア × 施設利用目的で規制を免れない。
- イ × 右左折等の合図が必要である。
- ウ ○ 道路外施設への出入でも交通規制・安全義務は適用される。
- エ × 正常な交通を妨げる進入はできない。

総合解説：送迎先への出入は頻繁に起こるため、事前の進入経路確認が有効である。

RY03-Q056 最高速度 > 一般道・高速道の法定速度、最低速度 難易度:2

道路標識等により最高速度が指定されている道路をバス又はタクシーで走行する場合の原則として正しいものはどれか。

- ア. 車両の法定速度の方が高ければ指定速度を無視できる。
- イ. 旅客自動車運送事業の車両は指定速度の適用外である。
- ウ. 交通量が少なければ20km/hまで超過できる。
- エ. 道路標識等で指定された最高速度を超えて運転してはならない。

正答：エ

- ア × 指定速度が優先される。
- イ × バス・タクシーも対象である。
- ウ × 交通量の多少で超過は認められない。
- エ ○ 正しい。指定最高速度がある道路では、その指定速度が上限となる。

総合解説：指定速度と、標識等がない場合の法定速度を区別する。

RY03-Q057 最高速度 > 一般道・高速道の法定速度、最低速度 難易度:1

2026年8月31日まで、最高速度の指定がない一般道路を通常の自動車で行く場合の法定最高速度として正しいものはどれか。

- ア. 60km/h
- イ. 30km/h
- ウ. 80km/h
- エ. 100km/h

正答：ア

- ア ○ 正しい。2026年8月31日までは、指定のない一般道路の通常の自動車は原則60km/hである。
- イ × 30km/hへの生活道路引下げは2026年9月1日施行である。
- ウ × 一般道路の通常上限ではない。
- エ × 高速自動車国道の一部車種の速度と混同している。

総合解説：2026年9月1日の改正施行前後を日付付きで区別する。

RY03-Q058 最高速度 > 一般道・高速道の法定速度、最低速度 難易度:2

2026年9月1日以降、中央線・車両通行帯などが設けられていない生活道路で、最高速度の指定がない場合の自動車の法定最高速度はどれか。

- ア. 40km/h
- イ. 30km/h
- ウ. 60km/h
- エ. 100km/h

正答：イ

- ア × 一律40km/hではない。
- イ ○ 正しい。2026年9月1日から対象となる生活道路の法定速度は30km/hへ引き下げられる。
- ウ × 改正前の一般道路原則60km/hをそのまま適用しない。
- エ × 高速道路の速度と混同している。

総合解説：生活道路の法定速度引下げは2026年9月1日施行である。

RY03-Q059 最高速度 > 一般道・高速道の法定速度、最低速度 難易度:2

2026年9月1日以降でも、最高速度の指定がない一般道路で法定速度60km/hが維持される道路の例として正しいものはどれか。

- ア. 中央線も車両通行帯もなく往復方向が分離されていない生活道路。
- イ. 歩行者が多いという理由だけで自動的に全道路が60km/hになる。
- ウ. 道路標識等による中央線又は車両通行帯が設けられている一般道路。
- エ. 道路幅にかかわらず住宅地の全道路。

正答：ウ

- ア × 改正後は対象生活道路として原則30km/hとなる。
- イ × そのような自動的な60km/h化はない。
- ウ ○ 正しい。中央線・車両通行帯のある一般道路等は改正後も原則60km/hが維持される。
- エ × 住宅地という名称だけで60km/hにはならない。

総合解説：改正後も全一般道路が30km/hになるわけではない。

RY03-Q060 最高速度 > 一般道・高速道の法定速度、最低速度 難易度:3

大型バスが、速度指定のない高速自動車国道の本線車道を走行する場合の法定最高速度として原則正しいものはどれか。

- ア. 60km/h
- イ. 80km/h
- ウ. 90km/h
- エ. 100km/h

正答：エ

- ア × 一般道路の速度と混同している。
- イ × 他の区分と混同している。
- ウ × 大型旅客自動車等の改正後速度と混同している。
- エ ○ 正しい。大型自動車のうち専ら人を運搬する構造のものは高速自動車国道の本線車道で原則100km/hである。

総合解説：大型バスは大型旅客車と高速道路法定速度が異なる点を押さえる。

RY03-Q061 最高速度 > 一般道・高速道の法定速度、最低速度 難易度:1

高速自動車国道の本線車道で、標識等による指定がない場合の最低速度として原則正しいものはどれか。

- ア. 50km/h
- イ. 20km/h
- ウ. 30km/h
- エ. 60km/h

正答：ア

- ア ○ 正しい。危険防止等やむを得ない場合を除き、対象となる本線車道では最低速度50km/hが原則である。
- イ × 原則値ではない。
- ウ × 生活道路の法定速度と混同している。
- エ × 最低速度の原則値ではない。

総合解説：最高速度だけでなく高速道路の最低速度も確認する。

RY03-Q062 最高速度 > 一般道・高速道の法定速度、最低速度 難易度:2

高速自動車国道の本線車道で最低速度50km/hが適用される場面について適切な説明はどれか。

- ア. 渋滞中でも必ず50km/h以上を維持しなければならない。
- イ. 危険を防止するためやむを得ない場合などは、50km/h未満となることがあり得る。
- ウ. 故障車を避ける場合でも減速してはならない。
- エ. 悪天候でも速度を下げてはならない。

正答：イ

- ア × 危険を生じさせてまで最低速度を維持しない。
- イ ○ 正しい。最低速度の規定は危険防止等の例外を無視して適用するものではない。
- ウ × 安全回避のための減速は必要である。
- エ × 天候に応じた安全速度が必要である。

総合解説：最低速度は安全運転義務と両立させる。

RY03-Q063 最高速度 > 一般道・高速道の法定速度、最低速度 難易度:1

高速自動車国道でも、本線車道が道路構造上往復方向別に分離されていない区間の速度について適切なものはどれか。

- ア. 大型バスは必ず100km/hで走行する。
- イ. 最低速度50km/hだけが必ず適用される。
- ウ. 通常の高速本線車道の速度表ではなく、一般道路と同様の速度規定が適用される。
- エ. 速度規制が一切なくなる。

正答：ウ

- ア × 道路構造を確認する必要がある。
- イ × 最低速度の適用関係も道路構造により異なる。
- ウ ○ 正しい。高速自動車国道という名称だけで通常の本線速度を適用しない。
- エ × 速度規制がなくなるわけではない。

総合解説：道路の名称だけでなく、本線車道の構造と政令上の区分を確認する。

RY03-Q064 最高速度 > 一般道・高速道の法定速度、最低速度 難易度:2

大型バスが高速自動車国道を走行中、「最高速度80」の標識がある区間に入った場合の最高速度として正しいものはどれか。

- ア. 100km/h
- イ. 90km/h
- ウ. 標識があっても大型バスは速度制限を受けない。
- エ. 80km/h

正答：エ

- ア × 法定速度より低い指定速度が優先される。
- イ × 大型旅客等の速度と混同している。
- ウ × 旅客バスも指定速度に従う。
- エ ○ 正しい。指定最高速度80km/hが法定最高速度100km/hより低いため、指定に従う。

総合解説：法定速度は指定がない場合の基準である。

RY03-Q065 最高速度 > 一般道・高速道の法定速度、最低速度 難易度:3

タクシーが一般道路の「最高速度50」の標識区間を走る場合の最高速度として正しいものはどれか。

- ア. 50km/h
- イ. 60km/h
- ウ. 80km/h
- エ. 100km/h

正答：ア

- ア ○ 正しい。道路標識等で50km/hと指定されている場合は、その指定速度に従う。
- イ × 指定速度を超える。
- ウ × 高速道路等の速度と混同している。
- エ × 一般道路の指定区間ではない。

総合解説：一般道路の法定速度改正後も、指定速度がある道路では指定が優先される。

RY03-Q066 最高速度 > 一般道・高速道の法定速度、最低速度 難易度:2

雨天で高速道路を走行するバスについて、標識の最高速度内であっても路面状況から危険がある場合の対応として適切なものはどれか。

- ア. 最高速度どおりで走る義務がある。
- イ. 最高速度は上限なので、路面・視界・乗客の安全を考慮してさらに速度を落とす。
- ウ. 最低速度を優先し、危険でも減速しない。
- エ. バスは大型車なので雨天でも減速する必要がない。

正答：イ

- ア × 状況に応じた安全速度が必要である。
- イ ○ 正しい。最高速度は安全を保証する推奨速度ではなく、超えてはならない上限である。
- ウ × 危険防止のための減速は認められる。
- エ × 車種にかかわらず路面状況を考慮する。

総合解説：旅客を乗せる運転では急操作を避ける観点からも余裕ある速度選択が重要である。

RY03-Q067 最高速度 > 一般道・高速道の法定速度、最低速度 難易度:1

最高速度と最低速度に関する記述として正しいものはどれか。

- ア. 最高速度は努力義務で、最低速度だけが法的義務である。
- イ. 最低速度はすべての一般道路に一律50km/hである。
- ウ. 最高速度は超えてはならず、最低速度は危険防止等の例外を除き下回ってはならない。
- エ. 最高速度と最低速度は常に同じ数値である。

正答：ウ

- ア × 最高速度も法的義務である。
- イ × 一般道路すべてに最低速度50km/hがあるわけではない。
- ウ ○ 正しい。最高速度・最低速度はそれぞれ道路・車種・指定の有無を確認する。
- エ × 上限と下限は別の規定である。

総合解説：速度問題では道路標識、道路構造、車種、施行日を確認する。

RY03-Q068 最高速度 > 徐行すべき場所 難易度:2

道路交通法上の「徐行」の意味として正しいものはどれか。

- ア. 必ず時速10km/h以下で進むこと。
- イ. 必ず時速20km/h以下で進むこと。
- ウ. 制限速度の半分で進むこと。
- エ. 車両等が直ちに停止することができるような速度で進行すること。

正答：エ

- ア × 法令上の一律10km/h定義ではない。
- イ × 一律20km/hでもない。
- ウ × 割合で定義されない。
- エ ○ 徐行は固定のkm/hではなく、直ちに停止できる速度である。

総合解説：「徐行 = ○ km/h」と固定的に覚えない。

RY03-Q069 最高速度 > 徐行すべき場所 難易度:2

「徐行」の標識がある場所での運転として正しいものはどれか。

- ア. 直ちに停止できる速度まで落として進行する。
- イ. 最高速度以下なら減速不要である。
- ウ. 警音器を鳴らせば徐行不要である。
- エ. 大型バスは徐行標識の対象外である。

正答：ア

- ア ○ 徐行標識がある場所は法定の徐行場所である。
- イ × 最高速度内でも徐行義務は別にある。
- ウ × 警音器で徐行義務を免れない。
- エ × 自動車も対象である。

総合解説：速度規制標識と徐行標識は別の義務を示す。

RY03-Q070 最高速度 > 徐行すべき場所 難易度:3

左右の見通しがきかない交差点での徐行義務について正しいものはどれか。

- ア. どのような場合も必ず一時停止する。
- イ. 交通整理が行われている場合や優先道路を通行している場合等を除き、徐行しなければならない。
- ウ. 信号がなくても徐行義務は一切ない。
- エ. 大型バスだけ徐行不要である。

正答：イ

- ア × 一時停止標識がなければ必ず停止とは限らない。
- イ ○ 左右の見通しがきかない交差点は原則徐行だが、信号等による交通整理や優先道路通行時は例外がある。
- ウ × 原則として徐行義務がある。
- エ × 車種で免除されない。

総合解説：見通し、交通整理、優先道路の3点を確認する。

RY03-Q071 最高速度 > 徐行すべき場所 難易度:1

道路の曲がり角付近を通行するときの原則として正しいものはどれか。

- ア. 道路幅が広ければ最高速度のまま通過する。
- イ. 夜間だけ徐行する。
- ウ. 徐行しなければならない。
- エ. 警音器を鳴らせば徐行しなくてよい。

正答：ウ

- ア × 道路幅だけで解除されない。
- イ × 昼夜を問わない。
- ウ ○ 道路の曲がり角付近は法定の徐行場所である。
- エ × 警音器と徐行義務は別である。

総合解説：大型バスは車幅・内輪差も大きいいため特に慎重に通行する。

RY03-Q072 最高速度 > 徐行すべき場所 難易度:2

上り坂の頂上付近を通行するときの原則として正しいものはどれか。

- ア. 見通しが悪くても加速して早く通過する。
- イ. 大型車だけは徐行不要である。
- ウ. 法定速度内なら徐行する必要はない。
- エ. 徐行しなければならない。

正答：エ

- ア × 加速は危険である。
- イ × 車種による免除はない。
- ウ × 最高速度規制とは別に徐行義務がある。
- エ ○ 上り坂の頂上付近は見通しが制限されるため法定徐行場所である。

総合解説：頂上の先に停止車や歩行者がいる可能性を考える。

RY03-Q073 最高速度 > 徐行すべき場所 難易度:1

こう配の急な下り坂を通行するときの原則として正しいものはどれか。

- ア. 徐行し、速度が過度に上がらないよう安全に進行する。
- イ. ニュートラルで惰性走行して速度を上げる。
- ウ. 最高速度以下なら徐行義務はない。
- エ. 大型バスは重量があるので徐行対象外である。

正答：ア

- ア ○ こう配の急な下り坂は法定徐行場所である。
- イ × 惰性走行は速度制御を困難にする。
- ウ × 最高速度と徐行義務は別である。
- エ × 重量車こそ制動距離等に注意が必要である。

総合解説：自動車では補助ブレーキ等を適切に使い、速度を確実に抑える。

RY03-Q074 停車・駐車 > 停車・駐車の禁止場所 難易度:2

「駐停車禁止」の標識又は標示がある場所での原則として正しいものはどれか。

- ア. 5分以内なら自由に駐車できる。
- イ. 駐車も停車もしてはならない。
- ウ. 旅客の乗降なら必ず停車できる。
- エ. 運転者が乗車していれば駐車できる。

正答：イ

- ア × 5分という駐車定義の例外と駐停車禁止場所を混同している。
- イ ○ 駐停車禁止は停車も駐車も禁止する規制である。
- ウ × 乗降目的でも場所の規制は別途適用される。
- エ × 運転者の在車だけで規制は解除されない。

総合解説：「駐車禁止」より規制が強い点を理解する。

RY03-Q075 停車・駐車 > 停車・駐車の禁止場所 難易度:3

交差点とその端から何メートル以内が、原則として駐停車禁止場所となるか。

- ア. 交差点の端から1m以内だけを禁止範囲とする。
- イ. 交差点の端から3m以内を禁止範囲とする。
- ウ. 交差点とその端から5m以内を禁止範囲とする。
- エ. 交差点の端から10m以内を禁止範囲とする。

正答：ウ

- ア × 1mではない。
- イ × 3mではない。
- ウ ○ 交差点とその端から5m以内は駐車・停車とも禁止される。
- エ × 10mは踏切・安全地帯・停留所等に関係する数値である。

総合解説：交差点周辺は視認性確保のため5mを覚える。

RY03-Q076 停車・駐車 > 停車・駐車の禁止場所 難易度:2

道路の曲がり角から何メートル以内が、原則として駐停車禁止場所となるか。

- ア. 曲がり角から2m以内だけを禁止範囲とする。数値基準は、対象となる車両・業務・期間を確認した上で適用する。
- イ. 曲がり角から3m以内を禁止範囲とする。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。
- ウ. 曲がり角から10m以内を禁止範囲とする。対象区分が異なれば別の数値基準が適用される場合がある。
- エ. 曲がり角から5m以内を禁止範囲とする。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。

正答：エ

- ア × 2mではない。
- イ × 3mではない。
- ウ × 10mではない。
- エ ○ 道路の曲がり角から5m以内は駐停車禁止である。

総合解説：交差点端と曲がり角はいずれも5mで整理できる。

RY03-Q077 停車・駐車 > 停車・駐車の禁止場所 難易度:1

横断歩道又は自転車横断帯とその端から前後何メートル以内が原則駐停車禁止か。

- ア. 横断歩道等とその端から前後5m以内を禁止範囲とする。
- イ. 横断歩道等の前後1m以内だけを禁止範囲とする。
- ウ. 横断歩道等の前後3m以内を禁止範囲とする。
- エ. 横断歩道等の前後10m以内を禁止範囲とする。

正答：ア

- ア ○ 横断歩道・自転車横断帯とその前後5m以内は駐停車禁止である。
- イ × 1mではない。
- ウ × 3mではない。
- エ × 10mではない。

総合解説：歩行者等の発見を妨げないため、横断歩道周辺は広く空ける。

RY03-Q078 停車・駐車 > 停車・駐車の禁止場所 難易度:2

踏切とその端から前後何メートル以内が原則駐停車禁止か。

- ア. 踏切の前後3m以内だけを禁止範囲とする。
- イ. 踏切とその端から前後10m以内を禁止範囲とする。
- ウ. 踏切の前後5m以内を禁止範囲とする。
- エ. 踏切の前後20m以内を禁止範囲とする。

正答：イ

- ア × 3mではない。
- イ ○ 踏切とその前後10m以内は駐停車禁止である。
- ウ × 横断歩道等の5mと混同しない。
- エ × 20mではない。

総合解説：踏切は「前後10m」と覚える。

RY03-Q079 停車・駐車 > 停車・駐車の禁止場所 難易度:2

安全地帯がある道路で、その左側と前後の駐停車禁止範囲として正しいものはどれか。

- ア. 安全地帯の右側だけ1メートル以内
- イ. 安全地帯の左側と前後3メートル以内
- ウ. 安全地帯の左側とその前後10メートル以内
- エ. 安全地帯の前後30メートル以内

正答：ウ

- ア × 場所・距離とも誤り。
- イ × 距離が誤り。
- ウ ○ 安全地帯の左側とその前後10m以内は駐停車禁止である。
- エ × 30mではない。

総合解説：安全地帯では歩行者保護のため停車も避ける。

RY03-Q080 停車・駐車 > 停車・駐車の禁止場所 難易度:3

バス・路面電車の停留所の標示板から、運行時間中に原則駐停車禁止となる範囲として正しいものはどれか。

- ア. 停留所標示板から1m以内とする。数値基準は、対象となる車両・業務・期間を確認した上で適用する。
- イ. 停留所標示板から3m以内とする。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。
- ウ. 停留所標示板から30m以内とする。対象区分が異なれば別の数値基準が適用される場合がある。
- エ. 運行時間中、停留所標示板から10m以内とする。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。

正答：エ

- ア × 1mではない。
- イ × 3mではない。
- ウ × 30mではない。
- エ ○ 停留所標示板から10m以内は、運行時間中に駐停車禁止である。

総合解説：「運行時間中に限る」という条件も併せて押さえる。

RY03-Q081 停車・駐車 > 停車・駐車の禁止場所 難易度:1

トンネル内での駐停車について原則正しいものはどれか。

- ア. 駐車も停車もしてはならない。
- イ. 照明が明るければ自由に駐車できる。
- ウ. 運転者が乗っていれば常に停車できる。
- エ. 自動車は荷崩れ確認のため自由に停車できる。

正答：ア

- ア ○ トンネルは原則駐停車禁止場所である。
- イ × 照明条件による一般例外はない。
- ウ × 在車だけで解除されない。
- エ × 荷崩れ確認は安全な場所で行うべきである。

総合解説：緊急時等を除き、トンネル内停車を避ける。

RY03-Q082 停車・駐車 > 停車・駐車の禁止場所 難易度:2

坂の頂上付近やこう配の急な坂での駐停車について正しいものはどれか。

- ア. 駐車だけ禁止で停車は自由である。
- イ. 原則として駐車も停車も禁止される。
- ウ. 大型バスだけ駐車できる。
- エ. 夜間だけ禁止される。

正答：イ

- ア × 停車も禁止である。
- イ ○ 坂の頂上付近・急な坂は駐停車禁止場所である。
- ウ × 車種の例外はない。
- エ × 昼夜で一般規制が変わらない。

総合解説：見通し・車両制御の観点から特に危険な場所である。

RY03-Q083 停車・駐車 > 停車・駐車の禁止場所 難易度:1

軌道敷内の駐停車について正しいものはどれか。

- ア. 路面電車が見えなければ駐車できる。
- イ. 旅客の乗降なら長時間駐車できる。
- ウ. 原則として駐車も停車もしてはならない。
- エ. ハザードランプを点ければ駐車できる。

正答：ウ

- ア × 路面電車の有無だけで解除されない。
- イ × 乗降目的でも場所の禁止規制が優先する。
- ウ ○ 軌道敷内は駐停車禁止場所である。
- エ × 非常点滅灯で解除されない。

総合解説：軌道敷を塞ぐと路面電車の運行を直接妨げる。

RY03-Q084 停車・駐車 > 停車・駐車の禁止場所 難易度:2

駐停車禁止場所でも、赤信号に従うため停止する場合の扱いとして適切なものはどれか。

- ア. 赤信号でも停止してはならない。
- イ. 駐停車禁止場所では信号を無視して進む。
- ウ. 大型バスだけ信号停止できない。
- エ. 信号に従う停止は、駐停車禁止違反として扱う停止とは別である。

正答：エ

- ア × 信号遵守が優先される。
- イ × 信号を無視することはできない。
- ウ × 車種による差はない。
- エ ○ 赤信号や危険防止のための一時停止等は、駐停車禁止規制が想定する任意の駐停車とは異なる。

総合解説：「停車」という日常語と、駐停車規制上の停止を区別する。

RY03-Q085 停車・駐車 > 停車・駐車の禁止場所 難易度:3

タクシーが横断歩道の手前3メートルで旅客を乗車させるため停止しようとしている。適切な判断はどれか。

- ア. 横断歩道とその前後5メートル以内は原則駐停車禁止なので、乗降目的でもそこで停止してはならない。
- イ. 旅客の乗降なら横断歩道直前でも自由に停止できる。
- ウ. タクシーは駐停車禁止場所の規制対象外である。
- エ. ハザードランプを点灯すれば停止できる。

正答：ア

- ア ○ 正しい。人の乗降は駐車の定義から除外されるが、駐停車禁止場所での停止は別問題である。
- イ × 乗降目的でも場所の禁止規制を受ける。
- ウ × タクシーも道路交通法に従う。
- エ × 非常点滅表示灯は駐停車禁止を解除しない。

総合解説：乗客の乗降位置は横断歩道・交差点等の禁止範囲を避けて選ぶ。

RY03-Q086 停車・駐車 > 駐車の禁止場所・駐車の方法 難易度:2

自動車用の駐車場・車庫などの出入口から何メートル以内が、原則として駐車禁止となるか。

- ア. 自動車用出入口から1m以内を駐車禁止とする。数値基準は、対象となる車両・業務・期間を確認した上で適用する。
- イ. 自動車用出入口から3m以内を駐車禁止とする。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。
- ウ. 自動車用出入口から5m以内を駐車禁止とする。対象区分が異なれば別の数値基準が適用される場合がある。
- エ. 自動車用出入口から10m以内を駐車禁止とする。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。

正答：イ

- ア × 火災報知機に関係する1mと混同しない。
- イ ○ 自動車用出入口から3m以内は駐車禁止場所である。
- ウ × 道路工事区域等に関係する5mと混同しない。
- エ × 10mではない。

総合解説：「出入口3m」は旅客車の路上駐車で特に注意する。

RY03-Q087 停車・駐車 > 駐車禁止場所・駐車の方法 難易度:1

火災報知機から何メートル以内が原則として駐車禁止となるか。

- ア. 火災報知機から3m以内を駐車禁止とする。数値基準は、対象となる車両・業務・期間を確認した上で適用する。
- イ. 火災報知機から5m以内を駐車禁止とする。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。
- ウ. 火災報知機から1m以内を駐車禁止とする。対象区分が異なれば別の数値基準が適用される場合がある。
- エ. 火災報知機から10m以内を駐車禁止とする。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。

正答：ウ

- ア × 出入口の3mと混同しない。
- イ × 消防水利等の5mと混同しない。
- ウ ○ 火災報知機から1m以内は駐車禁止である。
- エ × 10mではない。

総合解説：消防関係でも対象施設ごとに距離が異なる。

RY03-Q088 停車・駐車 > 駐車禁止場所・駐車の方法 難易度:2

道路工事区域の端から何メートル以内が原則として駐車禁止となるか。

- ア. 道路工事区域の端から1m以内を駐車禁止とする。数値基準は、対象となる車両・業務・期間を確認した上で適用する。
- イ. 道路工事区域の端から3m以内を駐車禁止とする。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。
- ウ. 道路工事区域の端から10m以内を駐車禁止とする。対象区分が異なれば別の数値基準が適用される場合がある。
- エ. 道路工事区域の端から5m以内を駐車禁止とする。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。

正答：エ

- ア × 1mではない。
- イ × 3mではない。
- ウ × 10mではない。
- エ ○ 道路工事区域の端から5m以内は駐車禁止である。

総合解説：工事車両の出入りや見通し確保のため、工事区域周辺を塞がない。

RY03-Q089 停車・駐車 > 駐車禁止場所・駐車の方法 難易度:2

消火栓や指定消防水利の標識が設けられている位置等からの駐車禁止範囲として正しいものはどれか。

- ア. 消火栓等の位置から5m以内を駐車禁止とする。数値基準は、対象となる車両・業務・期間を確認した上で適用する。
- イ. 消火栓等の位置から1m以内を駐車禁止とする。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。
- ウ. 消火栓等の位置から3m以内を駐車禁止とする。対象区分が異なれば別の数値基準が適用される場合がある。
- エ. 消火栓等の位置から10m以内を駐車禁止とする。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。

正答：ア

- ア ○ 消火栓、指定消防水利の標識位置等から5m以内は駐車禁止である。
- イ × 1mではない。
- ウ × 3mではない。
- エ × 10mではない。

総合解説：火災時の消防活動を妨げないための規制である。

RY03-Q090 停車・駐車 > 駐車禁止場所・駐車の方法 難易度:3

駐車した場合、車の右側の道路上に原則として確保すべき余地はどれか。

- ア. 車の右側に1.0m以上の余地があればよい。
- イ. 車の右側に3.5m以上の余地を確保する。
- ウ. 車の右側に2.0m以上の余地があればよい。
- エ. 車の右側に5.0m以上の余地を常に確保する。

正答：イ

- ア × 不足する。
- イ ○ 原則として車両右側に3.5m以上の余地がなくなる場所では駐車できない。
- ウ × 不足する。
- エ × 法定の一般基準ではない。

総合解説：大型自動車は車幅が大きいため、駐車余地の確認が特に重要である。

RY03-Q091 停車・駐車 > 駐車禁止場所・駐車の方法 難易度:1

歩道や路側帯のない一般道路で駐車・停車する場合の方法として正しいものはどれか。

- ア. 道路中央に停止する。
- イ. 道路の右端に寄せる。
- ウ. 道路の左端に沿って駐停車する。
- エ. 斜めに停止する。

正答：ウ

- ア × 交通を妨げる。
- イ × 原則と逆である。
- ウ ○ 歩道・路側帯がない道路では道路の左端に沿う。
- エ × 指定がない限り適切でない。

総合解説：停車位置も左側通行の原則に沿って考える。

RY03-Q092 停車・駐車 > 駐車禁止場所・駐車の方法 難易度:2

幅の広い路側帯に車を入れて駐停車できる場合、歩行者等のために原則確保すべき余地として正しいものはどれか。

- ア. 歩行者等のため0.25m以上空ける。数値基準は、対象となる車両・業務・期間を確認した上で適用する。
- イ. 歩行者等のため0.5m以上空ける。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。
- ウ. 歩行者等のため1.5m以上空ける。対象区分が異なれば別の数値基準が適用される場合がある。
- エ. 歩行者等のため0.75m以上空ける。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。

正答：エ

- ア × 狭すぎる。
- イ × 狭すぎる。
- ウ × 法定の一般基準ではない。
- エ ○ 路側帯に入れて駐停車できる場合は原則0.75m以上の余地を空ける。

総合解説：路側帯の標示種類によっては路側帯内に入れない場合もある。

RY03-Q093 停車・駐車 > 駐車の禁止場所・駐車の方法 難易度:3

道路に平行して既に駐停車している車の横に並んで駐停車する「二重駐車」について正しいものはどれか。

- ア. 原則としてしてはならない。
- イ. 運転者が乗っていれば自由にできる。
- ウ. 乗降が5分以内なら必ずできる。
- エ. 大型バスで旅客を乗降させる場合は常に認められる。

正答：ア

- ア ○ 道路に平行して駐停車している車と並んで駐停車してはならない。
- イ × 在車だけで解除されない。
- ウ × 乗降の定義例外と駐停車方法の規制は別である。
- エ × 旅客の乗降であっても、二重駐停車の方法規制が当然に解除されるわけではない。

総合解説：二重駐車は車道を狭め、追突・接触や渋滞の原因となる。

RY03-Q094 運転者・使用者の義務 > 安全運転の義務 難易度:1

道路交通法上の安全運転義務について、最も適切なものはどれか。

- ア. 運転者は、ハンドル・ブレーキその他の装置を確実に操作し、道路・交通・車両の状況に応じて他人に危害を及ぼさない速度と方法で運転しなければならない。
- イ. 法定速度を超えなければ、道路や交通の状況にかかわらず安全運転義務違反にはならない。
- ウ. 車両の点検整備が済んでいれば、運転中の操作方法について安全運転義務は問われない。
- エ. 安全運転義務は人身事故が発生した場合にだけ問題となる。

正答：ア

- ア ○ 道路交通法第70条の趣旨そのもの。装置の確実な操作と、状況に応じた安全な速度・方法の双方が求められる。
- イ × 法定速度は上限であり、その範囲内でも状況に不相応な速度なら安全運転義務違反となり得る。
- ウ × 点検整備と運転操作上の義務は別。整備済みでも運転方法が危険なら違反となり得る。
- エ × 事故の発生は要件ではない。危険な運転行為自体が安全運転義務違反となり得る。

総合解説：安全運転義務は『制限速度を守れば足りる』という規定ではない。車両の操作、道路状況、交通状況を総合して安全な運転方法を選ぶ必要がある。

RY03-Q095 運転者・使用者の義務 > 安全運転の義務 難易度:2

夜間の豪雨で前方の見通しが悪い道路を、制限速度60km/hの貸切バスが走行している。安全運転義務の観点から最も適切な対応はどれか。

- ア. 制限速度以下であっても、視界・路面・乗客の安全に応じてさらに減速し、必要なら運行を見合わせる。
- イ. 制限速度60km/hなら常に60km/hで走行する。
- ウ. 大型バスは車体が重いので雨天でも速度を落とさない。
- エ. 旅客が急いでいれば安全確認より定時運行を優先する。

正答：ア

- ア ○ 正しい。安全運転義務は指定速度以下であれば何をしてもよいという意味ではない。
- イ × 最高速度は上限である。
- ウ × 大型車も路面・視界の影響を受ける。
- エ × 定時性より安全を優先する。

総合解説：旅客運送では法定上限に加えて乗客の安全・転倒防止にも配慮した運転が必要である。

RY03-Q096 運転者・使用者の義務 > 安全運転の義務 難易度:2

貸切バスの車内で手荷物が移動し、運転席から後方・側方確認の妨げになっている。運転者の対応として最も適切なものはどれか。

- ア. 旅客が了承していればそのまま運転する。
- イ. 安全な場所に停止し、手荷物を安全に固定・整理して視界等を確保してから運行を再開する。
- ウ. 後方が見えなくても前方だけ見て走行する。
- エ. 到着予定時刻を優先し確認を省略する。

正答：イ

- ア × 旅客の了承で安全義務は消えない。
- イ ○ 正しい。安全確認を妨げる状態を解消してから運行を続ける。
- ウ × 周囲確認が必要である。
- エ × 定時性より安全を優先する。

総合解説：車内の手荷物・乗客の状態も運転操作と視界へ影響し得る。

RY03-Q097 運転者・使用者の義務 > 安全運転の義務 難易度:2

走行中、ブレーキの効きが通常より明らかに悪いと感じた。最も適切な対応はどれか。

- ア. 無理に運行を継続せず、安全を確保して停止し、必要な点検・整備を行う。
- イ. 速度を上げればブレーキの反応が改善する場合があるので、そのまま走行する。
- ウ. 定期点検を受けている車両なら、その日の運行終了までは継続してよい。
- エ. 駐車ブレーキが作動するなら、常用ブレーキの異常は問題ない。

正答：ア

- ア ○ 安全運転義務はブレーキ等を確実に操作できる状態での運転を求める。異常を認識したまま運行を続けるのは不適切。
- イ × 速度を上げるほど停止距離は増え、危険性が高まる。
- ウ × 過去の点検実施は、現在生じている異常を無視する根拠にならない。
- エ × 常用ブレーキと駐車ブレーキは役割が異なり、代替できない。

総合解説：運転中に車両異常を認識した場合は、故障の程度と周囲の状況を踏まえ、安全確保を最優先する。

RY03-Q098 運転者・使用者の義務 > 安全運転の義務 難易度:2

幅の狭い生活道路で歩行者の脇を通過する場合の考え方として、最も適切なものはどれか。

- ア. 歩行者との間隔や動きを踏まえ、必要に応じて十分に減速・停止できるように運転する。
- イ. 自動車は車幅が広いので、歩行者が先に停止して道を譲るのが原則である。
- ウ. 警音器を鳴らせば、歩行者側に避ける義務が生じるので速度を維持できる。
- エ. 制限速度以内なら、歩行者との間隔を考慮する必要はない。

正答：ア

- ア ○ 安全運転義務は他人に危害を及ぼさない速度と方法を要求する。狭路では歩行者の動きを予測して減速・停止の余地を確保する。
- イ × 車両の大きさを理由に歩行者への安全配慮を省略できない。
- ウ × 警音器は危険回避等の必要な場合に用いるもので、相手に一方的な退避義務を生じさせるものではない。
- エ × 制限速度内でも歩行者との離隔が不十分なら危険。

総合解説：運転者は『通行できるか』ではなく『安全に通行できるか』で判断する必要がある。

RY03-Q099 運転者・使用者の義務 > 過労運転等の禁止 難易度:2

深夜勤務が続き、強い眠気と注意力低下を自覚している運転者の対応として最も適切なものはどれか。

- ア. カフェインを摂取すれば、法的には過労運転に該当しなくなる。
- イ. 高速道路だけ避ければ一般道路は運転してよい。
- ウ. 正常な運転ができないおそれがあるなら運転を開始せず、休息や交替等の措置をとる。
- エ. 予定時刻に遅れそうなら、眠気があっても短距離だけ運転する。

正答：ウ

- ア × カフェイン摂取で危険状態が客観的に解消したと当然に扱われるわけではない。
- イ × 道路の種類により禁止が解除される規定ではない。
- ウ ○ 強い眠気により正常な運転が困難となるおそれがあれば運転してはならない。
- エ × 距離の短さは禁止を解除する条件ではない。

総合解説：眠気や疲労は判断力・反応を低下させる。旅客運送では運行予定より安全確保を優先する。

RY03-Q100 運転者・使用者の義務 > 過労運転等の禁止 難易度:2

医薬品の服用後に強い眠気やふらつきが出ている場合の運転について、最も適切なものはどれか。

- ア. 医師の処方薬であれば、眠気があっても道路交通法上は問題ない。
- イ. 薬物の影響で正常な運転ができないおそれがあるなら、運転してはならない。
- ウ. 薬物の影響による運転禁止は違法薬物だけを対象とする。
- エ. 市販薬でなければ、薬物の影響には含まれない。

正答：イ

- ア × 処方薬であることは運転可能性を保証しない。
- イ ○ 第66条の『薬物の影響』は、正常運転ができないおそれがあるかどうか为中心で、適法な医薬品でも影響があれば注意が必要。
- ウ × 違法薬物に限定する条文ではない。
- エ × 市販薬か処方薬かではなく、運転能力への影響が問題。

総合解説：服薬時は注意事項を確認し、眠気等が現れた場合は運転を避ける。運行管理でも健康状態・服薬の確認が重要となる。

RY03-Q101 運転者・使用者の義務 > 過労運転等の禁止 難易度:1

『過労運転等の禁止』に関する次の説明のうち、正しいものはどれか。

- ア. 病気による発熱やめまいで正常な運転ができないおそれがある状態も対象となる。
- イ. 勤務時間が法定範囲内なら、どれほど体調が悪くても過労運転等には該当しない。
- ウ. 事故を起こさなければ、過労運転等の禁止違反は成立しない。
- エ. 過労運転等の規定は事業用自動車だけに適用される。

正答：ア

- ア ○ 病気を含め、正常な運転ができないおそれがある状態での運転が禁止される。
- イ × 労働時間が範囲内でも、病気や疲労の程度によっては運転禁止となる。
- ウ × 事故発生は成立要件ではない。
- エ × 道路交通法の規定であり、事業用車両だけに限定されない。

総合解説：労務管理上の時間基準と道路交通法上の『正常な運転ができる状態か』は別の判断軸である。

RY03-Q102 運転者・使用者の義務 > 過労運転等の禁止 難易度:3

運転中に突然強いめまいが生じ、視線を安定させにくくなった。運転者がとるべき行動として最も適切なものはどれか。

- ア. 周囲の安全を確認して安全な場所に停止し、運転を継続しない。
- イ. 速度を少し落とせば、目的地まで運転してよい。
- ウ. 運転記録に体調不良を書けば、そのまま運行を続けられる。
- エ. 同乗者がいなければ、体調不良でも運転を続けてよい。

正答：ア

- ア ○ 正常な運転ができないおそれが生じた場合は、運転継続を避け安全確保を図る。
- イ × 速度低下だけで正常運転能力の問題が解消するとは限らない。
- ウ × 記録は必要な場合があるが、危険状態での運転を正当化しない。
- エ × 同乗者の有無は運転可否の要件ではない。

総合解説：走行中に体調が悪化した場合、まず安全に停止する。『少しなら大丈夫』という判断が重大事故につながり得る。

RY03-Q103 運転者・使用者の義務 > 過労運転等の禁止 難易度:3

運転者が『眠くない』と答えているが、点呼時に反応が鈍く、前夜ほとんど睡眠を取れていないことが判明した。法令上の考え方として最も適切なものはどれか。

- ア. 本人の申告だけでなく客観的状況も踏まえ、正常な運転ができないおそれがあれば運転させない。
- イ. 本人が運転可能と申告した以上、使用者側は運転させなければならない。
- ウ. アルコール検知が陰性なら、疲労状態は確認しなくてよい。
- エ. 睡眠不足は道路交通法第66条の対象にならない。

正答：ア

- ア ○ 正常な運転可否は本人の一言だけでなく、状態を総合して判断すべき。睡眠不足等で危険があれば運転を避ける。
- イ × 本人申告は判断材料の一つにすぎない。
- ウ × 飲酒確認と疲労・健康状態の確認は別の問題。
- エ × 過労その他の理由による正常運転困難のおそれも対象。

総合解説：旅客運送では、点呼や健康確認で客観的な兆候を見逃さないことが過労運転防止に直結する。

RY03-Q104 運転者・使用者の義務 > 酒気帯び・酒酔い運転の禁止 難易度:1

飲酒運転に関する道路交通法上の基本的な考え方として、最も適切なものはどれか。

- ア. 酒酔い運転だけが禁止され、酒気帯び運転は行政処分の対象にすぎない。
- イ. 酒気を帯びて車両等を運転すること自体が禁止されており、処分基準の数値未満でも『飲酒後なら自由に運転できる』わけではない。
- ウ. 飲酒後2時間経過すれば、測定結果にかかわらず運転できる。
- エ. 呼気中アルコール濃度が0.15mg/L未満なら、どのような状態でも運転してよい。

正答：イ

- ア × 酒気帯び運転にも刑事罰・行政処分がある。
- イ ○ 道路交通法第65条は酒気を帯びて車両等を運転することを禁止する。罰則・行政処分の数値基準と、禁止規定そのものを混同しないことが重要。
- ウ × 時間だけで体内アルコールの消失を断定できない。
- エ × 0.15mg/Lは酒気帯び運転の罰則等で重要な基準だが、『それ未満なら飲酒運転が許される』という意味ではない。

総合解説：飲酒量や経過時間には個人差がある。運転前は『数値ぎりぎり』ではなく、酒気を残さないことが原則となる。

RY03-Q105 運転者・使用者の義務 > 酒気帯び・酒酔い運転の禁止 難易度:2

2026年7月21日施行の改正後、酒酔い運転の要件として正しいものはどれか。

- ア. 呼気中アルコール濃度0.5mg/L以上、又はアルコールの影響により正常な運転ができないおそれがある状態。
- イ. 呼気0.15mg/L以上だけで必ず酒酔い運転となる。
- ウ. 呼気0.5mg/L未満なら正常運転困難でも酒酔い運転にならない。
- エ. 酒酔い運転には数値基準も状態基準も存在しない。

正答：ア

- ア ○ 正しい。2026年7月21日から酒酔い運転に0.5mg/L以上という数値基準が加わり、従来の状態基準も残る。
- イ × 0.15mg/Lは酒気帯び運転の罰則基準である。
- ウ × 0.5mg/L未満でも状態基準に該当すれば酒酔い運転となる。
- エ × 数値基準と状態基準がある。

総合解説：2026年改正で「0.5mg/L以上 OR 正常運転困難」が酒酔い運転の要件となった。

RY03-Q106 運転者・使用者の義務 > 酒気帯び・酒酔い運転の禁止 難易度:1

酒気帯び運転の罰則等で基準となる呼気中アルコール濃度として、正しいものはどれか。

- ア. 0.5mg/L以上。数値基準は、対象となる車両・業務・期間を確認した上で適用する。
- イ. 0.05mg/L以上。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。
- ウ. 1.5mg/L以上。対象区分が異なれば別の数値基準が適用される場合がある。
- エ. 0.15mg/L以上。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。

正答：エ

- ア × 0.5mg/Lは2026年7月21日から酒酔い運転に追加された数値基準。
- イ × 0.05mg/Lではない。
- ウ × 1.5mg/Lではない。
- エ ○ 警察庁は酒気帯び運転の要件として呼気中アルコール濃度0.15mg/L以上を示している。

総合解説：0.15mg/Lと0.5mg/Lを混同しない。前者は酒気帯び、後者は改正後の酒酔い運転の数値基準である。

RY03-Q107 運転者・使用者の義務 > 酒気帯び・酒酔い運転の禁止 難易度:2

前歴や他の累積点数がない運転者が、呼気中アルコール濃度0.15mg/L以上0.25mg/L未満で酒気帯び運転をした場合の行政処分として、警察庁が示すものはどれか。

- ア. 基礎点数35点、免許取消し・欠格期間3年。数値基準は、対象となる車両・業務・期間を確認した上で適用する。
- イ. 基礎点数25点、免許取消し・欠格期間2年。原則と例外・特例のどちらを問う設問かを区別して判断する。
- ウ. 基礎点数6点、免許停止30日。対象区分が異なれば別の数値基準が適用される場合がある。
- エ. 基礎点数13点、免許停止90日。現行基準と改正前の旧基準を混同しないことが必要である。

正答：エ

- ア × 酒酔い運転の基礎点数等。
- イ × 呼気0.25mg/L以上の酒気帯び運転の基準。
- ウ × 携帯電話使用等（交通の危険）などと混同した数値。
- エ ○ 警察庁の現行案内では、この濃度帯は基礎点数13点、前歴等がない場合は免許停止90日。

総合解説：行政処分は前歴・累積点数で変わり得るため、問題では『前歴等なし』という条件を確認する。

RY03-Q108 運転者・使用者の義務 > 酒気帯び・酒酔い運転の禁止 難易度:2

前歴や他の累積点数がない運転者が酒酔い運転をした場合の行政処分について、警察庁が示す内容として正しいものはどれか。

- ア. 基礎点数13点、免許停止90日である。
- イ. 基礎点数35点、免許取消し、欠格期間3年である。
- ウ. 基礎点数25点、免許取消し、欠格期間2年である。
- エ. 酒酔い運転は刑事罰だけで、行政処分の基礎点数は付されない。

正答：イ

- ア × 13点・停止90日は、呼気0.15mg/L以上0.25mg/L未満の酒気帯び運転に対応する。
- イ ○ 警察庁は、前歴・他の累積点数がない場合の酒酔い運転を35点、取消し、欠格3年としている。
- ウ × 25点・取消し・欠格2年は、呼気0.25mg/L以上の酒気帯び運転の行政処分である。
- エ × 酒酔い運転には刑事罰とともに行政処分があり、基礎点数35点が付される。

総合解説：酒酔い運転と酒気帯び運転では行政処分が異なる。数値だけでなく、違反類型ごとの点数・取消し・欠格期間を区別する。

RY03-Q109 運転者・使用者の義務 > 酒気帯び・酒酔い運転の禁止 難易度:1

酒を飲んだ友人が運転することを知りながら、その友人に自分の自動車を貸す行為について、最も適切なものはどれか。

- ア. 飲酒運転をするおそれのある者に車両を提供する行為も禁止・処罰の対象となり得る。
- イ. 車両提供は無償なら問題ない。
- ウ. 同乗しなければ車両提供は自由である。
- エ. 実際に運転するのは友人なので、車両提供者には飲酒運転に関する責任は生じない。

正答：ア

- ア ○ 道路交通法は運転者だけでなく、飲酒運転につながる車両提供も厳しく規制している。
- イ × 有償・無償で禁止の有無が決まる規定ではない。
- ウ × 同乗の有無とは別に車両提供自体が問題となる。
- エ × 運転者以外にも車両提供者への罰則がある。

総合解説：飲酒運転防止は『運転しない』だけでなく『させない』ことまで求められる。

RY03-Q110 運転者・使用者の義務 > 酒気帯び・酒酔い運転の禁止 難易度:2

運転する予定と知りながら運転者に酒類を提供したり、飲酒した運転者に送迎を依頼して同乗したりする行為について、最も適切なものはどれか。

- ア. 酒類を提供した者は、提供場所が自宅なら処罰対象にならない。
- イ. 運転者本人だけが処罰対象で、酒類提供者や同乗者は対象外である。
- ウ. 酒類提供者や同乗者等も、一定の場合に処罰の対象となる。
- エ. 同乗者は運賃を支払わなければ必ず免責される。

正答：ウ

- ア × 提供場所によって禁止が解除されるものではない。
- イ × 道路交通法は周囲の助長行為も規制する。
- ウ ○ 警察庁は酒類提供者・同乗者等にも罰則があることを明示している。
- エ × 料金の有無で一律に免責される制度ではない。

総合解説：事業者・同僚・家族を含め、飲酒運転を『させない』環境づくりが重要。

RY03-Q111 運転者・使用者の義務 > 酒気帯び・酒酔い運転の禁止 難易度:3

前夜に多量の飲酒をした運転者が翌朝『睡眠を取ったので大丈夫』と述べている。対応として最も適切なものはどれか。

- ア. 朝の運転は道路交通法上の飲酒運転規制の対象外である。
- イ. 睡眠時間だけで判断せず、体内にアルコールが残っている可能性を考慮し、酒気が確認される場合は運転させない。
- ウ. コーヒーを飲めばアルコール濃度に関係なく運転できる。
- エ. 一晩眠ればアルコールは必ず消失するため、そのまま運転させる。

正答：イ

- ア × 規制は時間帯で除外されない。
- イ ○ 警察庁も翌朝にアルコールが残る可能性を注意喚起している。経過時間だけで消失を断定できない。
- ウ × コーヒーで法的・生理的にアルコールが消失するわけではない。
- エ × アルコール分解には個人差がある。

総合解説：『二日酔い運転』も典型的なリスク。点呼では前夜の飲酒状況も含めて確認する価値がある。

RY03-Q112 運転者・使用者の義務 > 酒気帯び・酒酔い運転の禁止 難易度:3

呼気中アルコール濃度が0.5mg/L未満であった運転者が、アルコールの影響により正常な運転ができないおそれがある状態だった。2026年7月21日改正後の扱いとして正しいものはどれか。

- ア. 0.5mg/L未満なら必ず酒酔い運転ではない。
- イ. 0.15mg/L未満なら酒気を帯びていても運転してよい。
- ウ. 0.5mg/L未満でも状態基準に該当すれば酒酔い運転となり得る。
- エ. 旅客運送中だけは酒酔い運転の規定が適用されない。

正答：ウ

- ア × 数値基準だけの制度ではない。
- イ × 酒気を帯びた運転自体が禁止される。
- ウ ○ 正しい。改正後も従来の「正常な運転ができないおそれがある状態」という要件は残る。
- エ × 旅客運送にも適用される。

総合解説：数値だけでなく運転能力への影響も判断要素となる。

RY03-Q113 運転者・使用者の義務 > 携帯電話使用等の禁止 難易度:1

自動車運転中の携帯電話使用等について、道路交通法上の原則として正しいものはどれか。

- ア. 赤信号で完全に停止中も、道路交通法上は常に『走行中』として携帯電話に触れることが一切禁止される。
- イ. 自動車が停止しているときを除き、手で保持しなければ通話できない携帯電話等を通話のため使用したり、画像表示装置の画像を注視したりしてはならない。
- ウ. 携帯電話の使用禁止は高速道路だけに適用される。
- エ. ハンズフリーであれば、画面を長時間注視しても問題ない。

正答：イ

- ア × 条文上は停止中が除外されている。ただし発進前に安全確保が必要。
- イ ○ 第71条5の5は『停止しているときを除き』、保持通話や画像注視を禁止する。
- ウ × 一般道路を含め適用される。
- エ × 装置を手で持たなくても画像を注視する行為は別途問題となる。

総合解説：保持通話だけでなく、スマートフォンやカーナビ等の画像注視も重要な禁止対象。

RY03-Q114 運転者・使用者の義務 > 携帯電話使用等の禁止 難易度:1

走行中、スマートフォンを手にとって通話しているが、前方は見ている。この行為について最も適切なものはどれか。

- ア. 前方を見ていれば保持通話は許される。
- イ. 通話が30秒以内なら許される。
- ウ. 停止中でない限り、手で保持して通話する行為は原則として禁止される。
- エ. 時速20km/h以下なら許される。

正答：ウ

- ア × 保持通話自体が規制対象。
- イ × 時間による一般的な30秒免除はない。
- ウ ○ 前方注視の有無にかかわらず、走行中の保持通話は原則禁止。
- エ × 速度による一般的な免除もない。

総合解説：『短時間だから』『低速だから』ではなく、安全な場所に停止してから使用する。

RY03-Q115 運転者・使用者の義務 > 携帯電話使用等の禁止 難易度:2

走行中、ダッシュボードに固定したカーナビの画面を長時間注視した場合について正しいものはどれか。

- ア. 自動車の運行経路確認であれば、走行中の注視が特別に認められる。
- イ. 固定式カーナビは携帯電話ではないので、どれだけ注視しても道路交通法上問題ない。
- ウ. 手で保持していなくても、走行中に画像表示装置の画像を注視する行為は規制対象となる。
- エ. ナビの画面は2秒以上見なければ必ず安全で、法令上も一律に許される。

正答：ウ

- ア × 業務目的であっても一般的な免除はない。
- イ × 固定式かどうかだけで注視規制がなくなるわけではない。
- ウ ○ 規制は携帯電話の保持だけでなく、車内の画像表示装置の画像注視にも及ぶ。
- エ × 警察庁は2秒以上の注視の危険性を示すが、『2秒未満なら一律適法』という免除規定ではない。

総合解説：経路確認が必要なら、安全な場所へ停止して行うのが基本。

RY03-Q116 運転者・使用者の義務 > 携帯電話使用等の禁止 難易度:3

走行中の携帯電話使用に関する例外として、条文上示されているものはどれか。

- ア. 家族への帰宅連絡
- イ. 傷病者の救護または公共の安全維持のため、走行中に緊急やむを得ず通話する場合
- ウ. 渋滞を避けるため運送会社に経路を相談する通話
- エ. 旅客の到着予定時刻を知らせるための通話

正答：イ

- ア × 私的連絡は例外に当たらない。
- イ ○ 道路交通法は、傷病者救護または公共の安全維持のため緊急やむを得ない通話を例外としている。
- ウ × 経路相談も通常は安全な場所に停止して行うべき。
- エ × 業務連絡は通常、例外に当たらない。

総合解説：例外は限定的。『工作上必要』というだけでは走行中の保持通話を正当化できない。

RY03-Q117 運転者・使用者の義務 > 座席ベルト・チャイルドシート 難易度:1

シートベルトの着用義務について正しいものはどれか。

- ア. 助手席だけが着用義務の対象で、後部座席は任意である。
- イ. 後部座席は高速道路だけ着用義務があり、一般道路では義務がない。
- ウ. 事業用自動車の同乗者には着用義務がない。
- エ. 後部座席を含む全ての座席について、原則としてシートベルトを着用させる必要がある。

正答：エ

- ア × 助手席に限られない。
- イ × 一般道路でも後部座席の着用義務はある。
- ウ × 事業用自動車だから免除されるものではない。
- エ ○ 警察庁は後部座席を含む全席での着用義務を明示している。

総合解説：『後席は一般道なら任意』という古い誤解を避けること。

RY03-Q118 運転者・使用者の義務 > 座席ベルト・チャイルドシート 難易度:1

シートベルトを備えた自動車を運転する際の運転者の義務として、最も適切なものはどれか。

- ア. 助手席だけ確認すれば、後部座席は確認する必要がない。
- イ. 運転者自身が着用していれば、同乗者の着用は本人の自由である。
- ウ. 同乗者が成人なら、運転者側の義務は生じない。
- エ. 運転者自身が着用するとともに、原則として同乗者にも着用させなければならない。

正答：エ

- ア × 後部座席も原則対象。
- イ × 同乗者の判断だけに任せる制度ではない。
- ウ × 成人であることによる一般的免除はない。
- エ ○ 道路交通法第71条の3は、運転者自身だけでなく同乗者の着用についても運転者に義務を課す。

総合解説：点呼・出発前確認では、乗員のシートベルト着用も安全確認事項となる。

RY03-Q119 運転者・使用者の義務 > 座席ベルト・チャイルドシート 難易度:1

一般旅客自動車運送事業の用に供されるバス・タクシーが、その事業に係る旅客である6歳未満の幼児を乗せる場合のチャイルドシート義務について正しいものはどれか。

- ア. タクシーだけ例外で、バスには一切例外がない。
- イ. 一般旅客事業でも必ず旅客が自分でチャイルドシートを持参しなければ運送できない。
- ウ. 政令上のやむを得ない理由として、一般旅客自動車運送事業の旅客である幼児を乗せる場合はチャイルドシート使用義務の例外となる。
- エ. 旅客事業なら自家用車での私的送迎もすべて例外になる。

正答：ウ

- ア × 一般旅客自動車運送事業として対象となる。
- イ × 法定例外がある。
- ウ ○ 正しい。道路交通法施行令26条の3の2第3項は一般旅客自動車運送事業の旅客である幼児を例外対象とする。
- エ × 事業に係る旅客を運送する場合の例外であり、私的送迎一般へ広がるものではない。

総合解説：「6歳未満は原則チャイルドシート」と「一般旅客事業の法定例外」を両方理解する。

RY03-Q120 運転者・使用者の義務 > 座席ベルト・チャイルドシート 難易度:2

6歳以上の子供で、体格が小さく通常のシートベルトを適切に着用できない場合について、警察庁の安全上の推奨として適切なものはどれか。

- ア. 6歳になった時点でチャイルドシートを使用してはならない。
- イ. 年齢が6歳以上でも、体格等によりシートベルトを適切に使用できない場合はチャイルドシートの使用を検討する。
- ウ. 体格が小さければシートベルトを着けなくてもよい。
- エ. 後部座席なら安全装置は一切不要である。

正答：イ

- ア × 6歳以上でも使用できる。
- イ ○ 正しい。法定義務の最低年齢と、安全上適切な拘束装置の選択は別に考える。
- ウ × 体格に合う保護が必要である。
- エ × 後部座席でも安全対策が必要である。

総合解説：法定義務と安全推奨を区別して理解する。

RY03-Q121 運転者・使用者の義務 > 座席ベルト・チャイルドシート 難易度:3

幼児が疾病のためチャイルドシートを使用させることが療養上適当でない場合について、最も適切なものはどれか。

- ア. 高速道路だけの例外で一般道路では認められない。
- イ. 幼児が嫌がるだけで常に例外となる。
- ウ. 疾病があっても例外は一切ない。
- エ. 政令で定めるやむを得ない理由として、チャイルドシート使用義務の例外が認められる。

正答：エ

- ア × 道路種別で限定される例外ではない。
- イ × 単なる嫌悪は法定理由とは異なる。
- ウ × 疾病による例外が定められている。
- エ ○ 正しい。疾病等により療養上適当でない場合は法定例外がある。

総合解説：例外は条文・政令に定められた要件に沿って限定的に判断する。

RY03-Q122 運転者・使用者の義務 > 使用者の義務・下命容認の禁止 難易度:1

自動車の使用者が、その業務に関して無免許の者に自動車を運転するよう命じる行為について、最も適切なものはどれか。

- ア. 事故が起きなければ、使用者の下命容認は問題にならない。
- イ. 道路交通法上、使用者は無免許運転を命じ、または容認してはならない。
- ウ. 敷地外を短距離だけ走る場合は、無免許でも使用者が命じることができる。
- エ. 運転者本人が承諾すれば、使用者が命じても問題ない。

正答：イ

- ア × 事故発生は下命容認禁止の成立要件ではない。
- イ ○ 自動車の使用者には、業務に関して無免許運転を命じたり容認したりしない義務がある。
- ウ × 道路上で必要な免許を欠く者に運転を命じることはいかなる場合でもできない。
- エ × 本人の承諾で禁止が解除されるものではない。

総合解説：事業者は運転者本人の免許確認だけでなく、組織として無免許運転を発生させない管理が必要。

RY03-Q123 運転者・使用者の義務 > 使用者の義務・下命容認の禁止 難易度:2

旅客自動車運送事業の使用者が、運転者が酒気を帯びていることを知りながら旅客運送のため自動車を運転させる行為について正しいものはどれか。

- ア. 運転者が第二種免許を持っていれば認められる。
- イ. 短距離の旅客運送なら認められる。
- ウ. 乗客が同意すれば認められる。
- エ. 使用者による酒気帯び運転の下命・容認として禁止される。

正答：エ

- ア × 免許保有で飲酒運転は許されない。
- イ × 距離で禁止が解除されない。
- ウ × 乗客同意は違法性をなくさない。
- エ ○ 正しい。使用者は酒気帯び運転を命じたり容認したりしてはならない。

総合解説：事業者側にも「させない」義務がある。

RY03-Q124 運転者・使用者の義務 > 使用者の義務・下命容認の禁止 難易度:3

使用者が、著しい睡眠不足で正常な運転ができないおそれのある運転者に対し、運行を続けるよう命じた。最も適切な評価はどれか。

- ア. 運行が定刻どおり完了すれば、過労状態での運転でも問題ない。
- イ. 過労運転等を防止すべき立場から不適切であり、使用者側にも法令上の責任が生じ得る。
- ウ. 運転者が免許を持っていれば、使用者は疲労状態を考慮しなくてよい。
- エ. 運転者が拒否しなかった場合、使用者には一切責任がない。

正答：イ

- ア × 事故や遅延の有無ではなく、危険状態で運転させたことが問題。
- イ ○ 過労運転防止については、運転者だけでなく使用者の運行管理にも責任が及ぶ。
- ウ × 免許保有と健康・疲労状態は別問題。
- エ × 運転者が応じたとしても、使用者の適切な管理義務が消えるわけではない。

総合解説：旅客運送では時間厳守より安全確保が優先される。運転者の申告や外観、勤務状況を踏まえた判断が必要。

RY03-Q125 運転者・使用者の義務 > 使用者の義務・下命容認の禁止 難易度:2

使用者の業務に関して過労運転が行われ、過労運転防止に必要な運行管理が行われていないと認められる場合の制度について正しいものはどれか。

- ア. 公安委員会は運転者だけを処分でき、使用者には何も求められない。
- イ. 使用者への指示は酒気帯び運転の場合にしか行えない。
- ウ. 公安委員会は、過労運転を防止するため必要な措置をとるよう使用者に指示することができる。
- エ. 過労運転が1回でもあれば、必ず事業許可が自動的に取り消される。

正答：ウ

- ア × 使用者側への行政上の働きかけがある。
- イ × 過労運転に固有の指示制度がある。
- ウ ○ 道路交通法第66条の2は、過労運転防止に必要な管理が不十分な使用者への指示を定める。
- エ × 道路交通法上、直ちに事業許可が自動取消しとなる制度ではない。

総合解説：個々の違反だけでなく、違反を生み出す運行管理体制そのものが問題となる。

RY03-Q126 運転者・使用者の義務 > 使用者の義務・下命容認の禁止 難易度:3

配車担当者が「運行予定時刻に間に合わせるため、制限速度を超えてでも走れ」と運転者に指示した。法令上の考え方として最も適切なものはどれか。

- ア. 速度違反を命じることが認められず、運行計画を見直して安全・法令遵守を優先する。
- イ. 旅客が急いでいれば速度違反を命じてよい。
- ウ. 貸切バスなら速度規制の適用外である。
- エ. 運転者が同意すれば下命側に問題はない。

正答：ア

- ア ○ 正しい。定時性・契約上の事情は速度規制違反の理由にならない。
- イ × 旅客の事情で法令違反は正当化されない。
- ウ × 貸切バスも道路交通法に従う。
- エ × 同意の有無で違法な指示が適法にならない。

総合解説：運行管理では無理なダイヤ・行程を作らず、違反を誘発しない。

RY03-Q127 交通事故の措置 > 救護義務・危険防止・警察官への報告 難易度:1

交通事故が発生した場合、車両の運転者等がまず行うべき措置として正しいものはどれか。

- ア. 物損事故であれば、相手と合意すれば停止せず走行を続けてよい。
- イ. 会社への連絡が済むまで、負傷者の救護を待ってよい。
- ウ. 交通の妨げになるので、現場から離れてから警察へ連絡する。
- エ. 直ちに車両を停止し、負傷者を救護し、道路上の危険を防止するため必要な措置を講じる。

正答：エ

- ア × 物損事故でも必要な停止・報告等が問題となる。
- イ × 会社連絡より負傷者救護など法定措置を優先する。
- ウ × 現場離脱は救護・報告義務に反するおそれがある。
- エ ○ 道路交通法第72条は、事故時の停止、負傷者救護、危険防止を求めている。

総合解説：事故時は『停止→救護・危険防止→警察への報告』を基本順序として覚える。

RY03-Q128 交通事故の措置 > 救護義務・危険防止・警察官への報告 難易度:2

人身事故で負傷者がいる場合、運転者の対応として最も適切なものはどれか。

- ア. 後続車の交通が多い場合は、負傷者を残して運行継続を優先する。
- イ. 負傷者が『大丈夫』と言えば、警察への報告も救護も不要である。
- ウ. 安全を確保したうえで負傷者を救護し、必要に応じ救急車を要請する。
- エ. 事故の責任が相手側にあると考える場合は、救護義務を負わない。

正答：ウ

- ア × 運行継続より人命救護を優先する。
- イ × 本人の発言だけで法定義務が当然に消えるわけではない。
- ウ ○ 事故責任の帰属とは別に、事故当事者には負傷者救護等の義務がある。
- エ × 過失割合と救護義務は別問題。

総合解説：事故現場では責任論を先に争わず、救護と二次事故防止を優先する。

RY03-Q129 交通事故の措置 > 救護義務・危険防止・警察官への報告 難易度:2

交通事故後の危険防止措置として最も適切なものはどれか。

- ア. 後続車による二次事故を防ぐため、可能な範囲で安全確保や表示、交通への注意喚起等を行う。
- イ. 車両を道路中央に放置し、何もせず警察を待つ。
- ウ. 負傷者がいなければ、二次事故防止措置は不要である。
- エ. 積荷が道路に散乱していても、所有物なので動かしてはならない。

正答：ア

- ア ○ 事故後には道路上の危険を防止するため必要な措置を講じる義務がある。
- イ × 危険な放置は二次事故につながる。
- ウ × 物損事故でも道路上の危険防止は重要。
- エ × 散乱物が危険を生じさせる場合、安全に配慮して危険除去等を行う必要がある。

総合解説：自動車では積荷散乱が大きな二次事故要因になるため、現場安全の確保が特に重要。

RY03-Q130 交通事故の措置 > 救護義務・危険防止・警察官への報告 難易度:1

交通事故後、警察官への報告について正しいものはどれか。

- ア. 人身事故だけ報告義務があり、物損事故は一切報告しなくてよい。
- イ. 会社が後日まとめて報告すれば、運転者等は現場で報告しなくてよい。
- ウ. 相手方と示談できれば、警察への報告は常に不要である。
- エ. 事故の発生日時・場所、死傷者の数や負傷程度、損壊物や損壊程度、積載物、講じた措置など必要事項を報告する。

正答：エ

- ア × 物損事故でも道路交通法上の交通事故として報告が必要となる。
- イ × 現場の運転者等に報告義務がある。
- ウ × 当事者間の示談と法定報告義務は別。
- エ ○ 道路交通法第72条は事故状況等の警察官への報告を求める。

総合解説：報告では『いつ・どこで・誰がどの程度・何がどの程度・積荷・実施措置』を整理する。

RY03-Q131 交通事故の措置 > 救護義務・危険防止・警察官への報告 難易度:2

貸切バスがガードレールに単独で接触し、人のけがはなかったがガードレールを損壊した。対応として最も適切なものはどれか。

- ア. 人身事故でないため何もせず走り去る。
- イ. 会社に連絡すれば警察への報告は不要である。
- ウ. 停止して危険防止措置を取り、物損事故として警察官へ必要な報告を行う。
- エ. 旅客が急いでいれば現場措置を省略できる。

正答：ウ

- ア × 事故後の措置義務がある。
- イ × 社内連絡と警察報告は別である。
- ウ ○ 正しい。人身傷害がなくても道路施設を損壊した交通事故では必要な措置・報告を行う。
- エ × 旅客事情で義務は消えない。

総合解説：旅客を乗せている場合でも、事故現場の安全確保を優先する。

RY03-Q132 交通事故の措置 > 救護義務・危険防止・警察官への報告 難易度:3

交通事故の相手方が負傷しているにもかかわらず、運転者が救護せず現場を離れた場合について最も適切なものはどれか。

- ア. 自車に損傷がなければ救護義務は生じない。
- イ. 救護義務違反として重大な法的責任を問われる可能性がある。
- ウ. 後で会社から救急車を呼べば、現場を離れても救護義務違反にならない。
- エ. 相手方にも過失があれば救護義務はなくなる。

正答：イ

- ア × 車両損傷の有無は救護義務の要件ではない。
- イ ○ 事故後の負傷者救護は、過失割合や自車損傷の有無とは別に重要な法定義務。
- ウ × 現場で必要な救護をせず離れることを後の連絡だけで当然に正当化できない。
- エ × 相手方の過失は救護義務を消さない。

総合解説：いわゆる『ひき逃げ』につながる行為は、事故そのものとは別に救護義務違反が問題となる。

RY03-Q133 交通事故の措置 > 救護義務・危険防止・警察官への報告 難易度:2

事故現場で警察官が到着し、負傷者救護等に必要な指示をした場合の対応として最も適切なものはどれか。

- ア. 運転者は会社の指示だけに従えばよく、警察官の指示に従う必要はない。
- イ. 事故責任を認めていない場合は、警察官の安全確保上の指示を拒める。
- ウ. 警察官の指示に従い、事故処理と安全確保に協力する。
- エ. 旅客運送中であれば、警察官の指示より納品を優先できる。

正答：ウ

- ア × 会社の指示が警察官の現場指示に優先するわけではない。
- イ × 責任認定と現場安全確保の指示は別問題。
- ウ ○ 事故現場では警察官の指示に従い、救護・危険防止等を行う必要がある。
- エ × 業務上の都合で安全措置を拒めない。

総合解説：事故対応では、現場の安全確保を優先し、警察・消防等と連携する。

RY03-Q134 交通事故の措置 > 救護義務・危険防止・警察官への報告 難易度:3

接触事故後、相手車両の運転者が『急いでいるので警察を呼ばず、お互い連絡先だけ交換しよう』と提案した。最も適切な対応はどれか。

- ア. 事故現場に防犯カメラがあれば報告不要である。
- イ. 修理費が10万円未満なら報告不要である。
- ウ. 双方が同意すれば、道路交通法上の報告義務はなくなる。
- エ. 当事者間の合意だけで法定の事故報告義務が消えるわけではないため、必要な警察への報告を行う。

正答：エ

- ア × 映像の有無は報告義務を消さない。
- イ × 損害額による一般的な報告免除基準はない。
- ウ × 私人間の合意で道路交通法の義務を解除できない。
- エ ○ 示談・連絡先交換と警察への法定報告は別の問題。

総合解説：軽微に見える事故でも、後から負傷や損傷が判明することがある。法定手続を省略しない。

RY03-Q135 交通事故の措置 > 救護義務・危険防止・警察官への報告 難易度:2

事故直後の対応順序として、最も適切なものはどれか。

- ア. 写真撮影→SNSで状況共有→車両移動→負傷者確認
- イ. 会社への報告→運行継続→後日警察へ報告→負傷者確認
- ウ. 乗客の安全確認→相手との示談→会社へ報告→必要なら救護
- エ. 停止して安全を確保し、負傷者救護・二次事故防止を行い、警察へ必要事項を報告する。

正答：エ

- ア × SNS投稿は法定措置ではなく、救護を遅らせてはならない。
- イ × 運行継続や社内連絡を救護より先に置くのは不適切。
- ウ × 示談や乗客の安全確認を負傷者救護より優先しない。
- エ ○ 人命と現場安全を最優先にし、その後警察への報告等を行う流れが基本。

総合解説：事故時はパニックになりやすい。停止・救護・危険防止・報告という基本手順を固定して覚える。

RY03-Q136 運転免許 > 免許の区分（第一種・第二種等） 難易度:1

旅客自動車運送事業の旅客を運送する目的で事業用自動車を運転する場合の免許について、最も適切なものはどれか。

- ア. 第一種普通免許だけで全てのバス・タクシーを営業運転できる。
- イ. 自動車の種類に応じた第二種免許が必要となる。
- ウ. 運行管理者資格者証があれば運転免許は不要である。
- エ. 旅客が無償でなければ免許区分は問われない。

正答：イ

- ア × 営業の旅客運送には第二種免許が必要となる。
- イ ○ 正しい。道路交通法86条は旅客自動車を旅客運送目的で運転する場合、車種に応じた第二種免許を求める。
- ウ × 運行管理者資格と運転免許は別制度である。
- エ × 有償旅客運送こそ免許区分確認が重要である。

総合解説：旅客試験では「車両区分＋第二種免許」を組み合わせで判断する。

RY03-Q137 運転免許 > 免許の区分（第一種・第二種等） 難易度:1

一般的なタクシーとして使用する普通自動車を、旅客自動車運送事業の旅客を運送する目的で運転する場合に必要な免許として適切なものはどれか。

- ア. 普通第一種免許だけ
- イ. 準中型免許だけ
- ウ. 普通第二種免許
- エ. 大型特殊免許

正答：ウ

- ア × 第一種免許だけでは旅客運送目的の営業運転はできない。
- イ × 準中型免許は目的・車種が異なる。
- ウ ○ 正しい。普通自動車で旅客を営業運送するには普通第二種免許が対応する。
- エ × 大型特殊免許は通常のタクシー用免許ではない。

総合解説：タクシーの代表的な免許区分は普通第二種である。

RY03-Q138 運転免許 > 免許の区分（第一種・第二種等） 難易度:2

乗車定員11人以上29人以下のバス型の中型自動車を、旅客自動車運送事業の旅客を運送する目的で運転する場合に対応する第二種免許はどれか。

- ア. 普通第二種免許
- イ. 中型第二種免許
- ウ. 大型特殊第二種免許
- エ. 牽引第二種免許

正答：イ

- ア × 普通自動車の旅客運送に対応する免許である。
- イ ○ 正しい。中型自動車・準中型自動車の旅客運送目的の運転には中型第二種免許が対応する。
- ウ × 大型特殊自動車用である。
- エ × 被牽引車を旅客運送目的で牽引する場合等の区分である。

総合解説：中型バスは中型第二種という対応関係を押さえる。

RY03-Q139 運転免許 > 免許の区分（第一種・第二種等） 難易度:1

乗車定員30人のバスは、他の条件を問わず道路交通法上どの自動車区分に該当するか。

- ア. 普通自動車
- イ. 準中型自動車
- ウ. 中型自動車
- エ. 大型自動車

正答：エ

- ア × 乗車定員基準を満たさない。
- イ × 準中型は旅客定員30人を扱う区分ではない。
- ウ × 中型は乗車定員11人以上29人以下である。
- エ ○ 正しい。乗車定員30人以上は大型自動車に該当する。

総合解説：旅客では車両総重量より乗車定員で区分する問題が特に重要である。

RY03-Q140 運転免許 > 免許の区分（第一種・第二種等） 難易度:2

乗車定員30人の大型バスを、旅客自動車運送事業の旅客を運送する目的で運転する場合に必要な免許として原則適切なものはどれか。

- ア. 普通第二種免許
- イ. 中型第二種免許
- ウ. 大型第一種免許だけ
- エ. 大型第二種免許

正答：エ

- ア × 普通自動車用である。
- イ × 中型自動車等用である。
- ウ × 大型第一種だけでは旅客運送目的の運転はできない。
- エ ○ 正しい。大型自動車で旅客を営業運送する場合は大型第二種免許が必要である。

総合解説：大型バス = 大型自動車 + 旅客運送目的 = 大型第二種と整理する。

RY03-Q141 運転免許 > 免許の区分（第一種・第二種等） 難易度:2

大型第二種免許を受けた者ができる運転として正しいものはどれか。

- ア. 大型バスだけしか運転できず普通自動車は運転できない。
- イ. 大型旅客自動車を旅客運送目的で運転できるほか、対応する下位区分の旅客自動車等も法令の範囲で運転できる。
- ウ. 旅客運送目的では一切運転できない。
- エ. 大型特殊自動車だけを運転できる。

正答：イ

- ア × 上位免許として下位区分の運転範囲がある。
- イ ○ 正しい。大型第二種は大型の旅客運送を含み、法令上対応する下位車種の運転範囲もある。
- ウ × 第二種免許の中心用途と逆である。
- エ × 大型特殊とは別区分である。

総合解説：第二種免許の上下関係を理解する。

RY03-Q142 運転免許 > 免許の区分（第一種・第二種等） 難易度:2

普通第一種免許しか持たない運転者が、普通自動車のタクシーで有償の旅客運送を行うことについて正しいものはどれか。

- ア. 普通第一種免許だけで営業運転できる。
- イ. 運行管理者の許可があれば普通第一種だけでよい。
- ウ. 旅客が1人なら第一種免許だけでよい。
- エ. 普通第二種免許が必要であり、普通第一種免許だけでは営業運転できない。

正答：エ

- ア × 第一種と第二種の用途が異なる。
- イ × 社内許可で免許要件は変わらない。
- ウ × 旅客数で免許種別は変わらない。
- エ ○ 正しい。旅客自動車運送事業の旅客を運送する目的では第二種免許が必要である。

総合解説：「車両を運転できる免許」と「旅客営業運転に必要な免許」を区別する。

RY03-Q143 運転免許 > 免許の区分（第一種・第二種等） 難易度:2

第二種免許の種類として道路交通法が定めている組合せはどれか。

- ア. 大型第二種、中型第二種、準中型第二種、普通第二種の4種類だけ。
- イ. 普通第二種と大型第二種の2種類だけ。
- ウ. 大型第二種、中型第二種、普通第二種、大型特殊第二種、牽引第二種。
- エ. 大型第二種、中型第二種、普通第二種、原付第二種の4種類。

正答：ウ

- ア × 準中型第二種という独立区分はない。
- イ × 5種類ある。
- ウ ○ 正しい。第二種免許は5種類であり、準中型第二種という独立免許はない。
- エ × 原付第二種という運転免許区分はない。

総合解説：準中型自動車の旅客運送目的の運転は中型第二種の範囲に含まれる。

RY03-Q144 運転免許 > 免許の区分（第一種・第二種等） 難易度:2

第二種免許の通常の受験資格について、特例を利用しない場合の基本的な要件として適切なものはどれか。

- ア. 18歳以上で免許保有歴は不要。
- イ. 19歳以上なら教習の有無を問わず保有歴なしで受験できる。
- ウ. 原則21歳以上で、普通免許等を受けていた期間が通算3年以上。
- エ. 25歳以上で普通免許保有5年以上に限られる。

正答：ウ

- ア × 通常要件を満たさない。
- イ × 19歳・1年以上は所定の受験資格特例教習を修了した場合の特例である。
- ウ ○ 正しい。第二種免許の通常要件は21歳以上・普通免許等3年以上が基本である。
- エ × そこまでの年齢・年数は求めない。

総合解説：通常要件と、受験資格特例教習による19歳・1年以上の特例を区別する。

RY03-Q145 運転免許 > 免許の区分（第一種・第二種等） 難易度:2

公安委員会が指定した受験資格特例教習を修了した者について、第二種免許の受験資格特例として正しいものはどれか。

- ア. 19歳以上で、普通免許等を受けていた期間が通算1年以上であれば受験できる特例がある。
- イ. 18歳未満でも免許歴なしで受験できる。
- ウ. 普通免許等の保有歴は一切不要になる。
- エ. 特例を受けても30歳以上でなければ受験できない。

正答：ア

- ア ○ 正しい。所定教習修了者には年齢・経験年数要件を19歳以上・1年以上へ引き下げる特例がある。
- イ × 19歳以上が必要である。
- ウ × 普通免許等1年以上が必要である。
- エ × 30歳要件はない。

総合解説：若年運転者確保のための受験資格特例を現行制度として理解する。

RY03-Q146 運転免許 > 免許の区分（第一種・第二種等） 難易度:2

2026年8月時点のAT限定第二種免許に関する説明として正しいものはどれか。

- ア. 普通第二種に加え、中型第二種でもAT免許制度が導入されている一方、大型第二種のAT免許導入は2027年10月1日の予定である。
- イ. 大型第二種も2026年4月1日にAT免許が導入済みである。
- ウ. 第二種免許にはAT限定制度が一切存在しない。
- エ. 普通第二種のAT免許導入は2027年以降である。

正答：ア

- ア ○ 正しい。普通第二種は2025年4月1日、中型第二種は2026年4月1日、大型第二種は2027年10月1日にAT免許導入予定である。
- イ × 大型第二種はまだ導入前である。
- ウ × 普通・中型第二種にはAT制度がある。
- エ × 普通第二種は既に導入済みである。

総合解説：施行時期の異なるAT第二種免許制度を2026年時点で整理する。

RY03-Q147 運転免許 > 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識 難易度:1

運転免許の停止と取消しについて、最も適切な説明はどれか。

- ア. 停止中でも事業用バスだけは運転できる。
- イ. 取消処分中でも会社が許可すればタクシーを運転できる。
- ウ. 停止処分を受けると必ず永久に再取得できない。
- エ. 停止は一定期間免許の効力を停止する処分であり、取消しは免許そのものを失わせる処分である。

正答：エ

- ア × 停止中は事業用車も運転できない。
- イ × 会社の許可で行政処分は解除されない。
- ウ × 永久失格とは限らない。
- エ ○ 正しい。運行管理では免許証の有効期限だけでなく、停止・取消しの状態も確認する。

総合解説：旅客運送では運転者の免許の種類と効力を継続的に確認する。

RY03-Q148 運転免許 > 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識 難易度:3

75歳以上の運転者が認知機能検査で「認知症のおそれがある」と判定された場合について、最も適切なものはどれか。

- ア. 判定された時点で医師の診断なしに必ず即日取消しとなる。
- イ. 臨時適性検査又は診断書提出命令等により医師の診断を受け、認知症と診断された場合は聴聞等を経て免許取消し又は効力停止となることがある。
- ウ. 75歳以上は認知機能に関係なく全員免許停止となる。
- エ. 第二種免許だけに適用され第一種免許には影響しない。

正答：イ

- ア × 医師の診断等の手続がある。
- イ ○ 正しい。認知機能検査の判定と、医師の診断・行政処分は段階が分かれている。
- ウ × 年齢だけで一律停止ではない。
- エ × 免許全般の適性に関わる制度である。

総合解説：高齢運転者を雇用する旅客事業では更新・検査状況も把握する。

RY03-Q149 運転免許 > 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識 難易度:2

初心運転者標識（初心者マーク）について、最も適切なものはどれか。

- ア. 原則として準中型免許又は普通免許を受けてから通算1年に達しない者が対象車両を運転する場合に表示義務がある。
- イ. 第二種免許を取得した旅客運転者は全員5年間表示する。
- ウ. 初心者マークは自動二輪車だけが対象である。
- エ. 表示は道路交通法上常に任意である。

正答：ア

- ア ○ 正しい。初心運転者標識の対象・期間には法定要件がある。
- イ × 第二種免許取得者全員に5年義務がある制度ではない。
- ウ × 四輪の対象車両に関する制度である。
- エ × 対象者には表示義務がある。

総合解説：標識の対象免許・期間を限定して覚える。

RY03-Q150 運転免許 > 免許の効力（停止・取消し）・高齢／初心者標識 難易度:2

初心運転者標識又は高齢運転者標識を表示した普通自動車等の周囲を走行する他の自動車運転者について、最も適切なものはどれか。

- ア. 旅客自動車は幅寄せ禁止の対象外である。
- イ. 標識は本人だけの注意喚起なので周囲の車には何の義務もない。
- ウ. 危険防止のためやむを得ない場合を除き、標識表示車への幅寄せや割込みをしてはならない。
- エ. 標識表示車は必ず法定速度より20km/h低く走る義務がある。

正答：ウ

- ア × 旅客車も対象外ではない。
- イ × 周囲の運転者にも義務がある。
- ウ ○ 正しい。標識表示車を保護するため、周囲の運転者にも幅寄せ・割込みの禁止がある。
- エ × 一律20km/h低く走る義務はない。

総合解説：バス・タクシーの運転者も標識表示車に十分配慮して運転する。